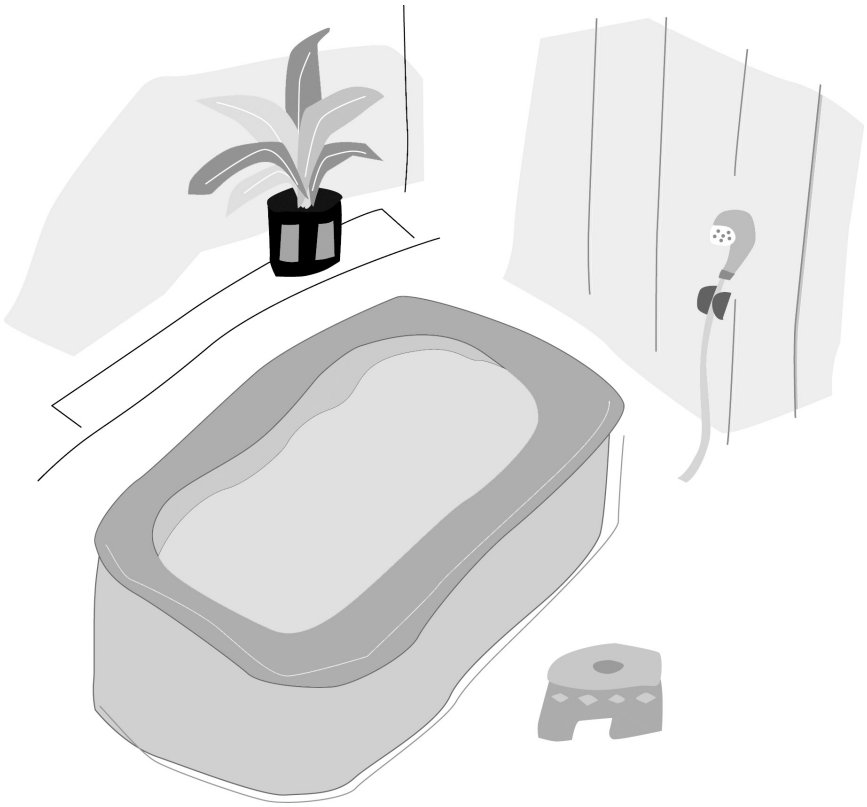
Housetec
Living with ideas

システムバスルーム
取扱説明書



RHシリーズ
GWシリーズ
GX-Lシリーズ

保証書在中

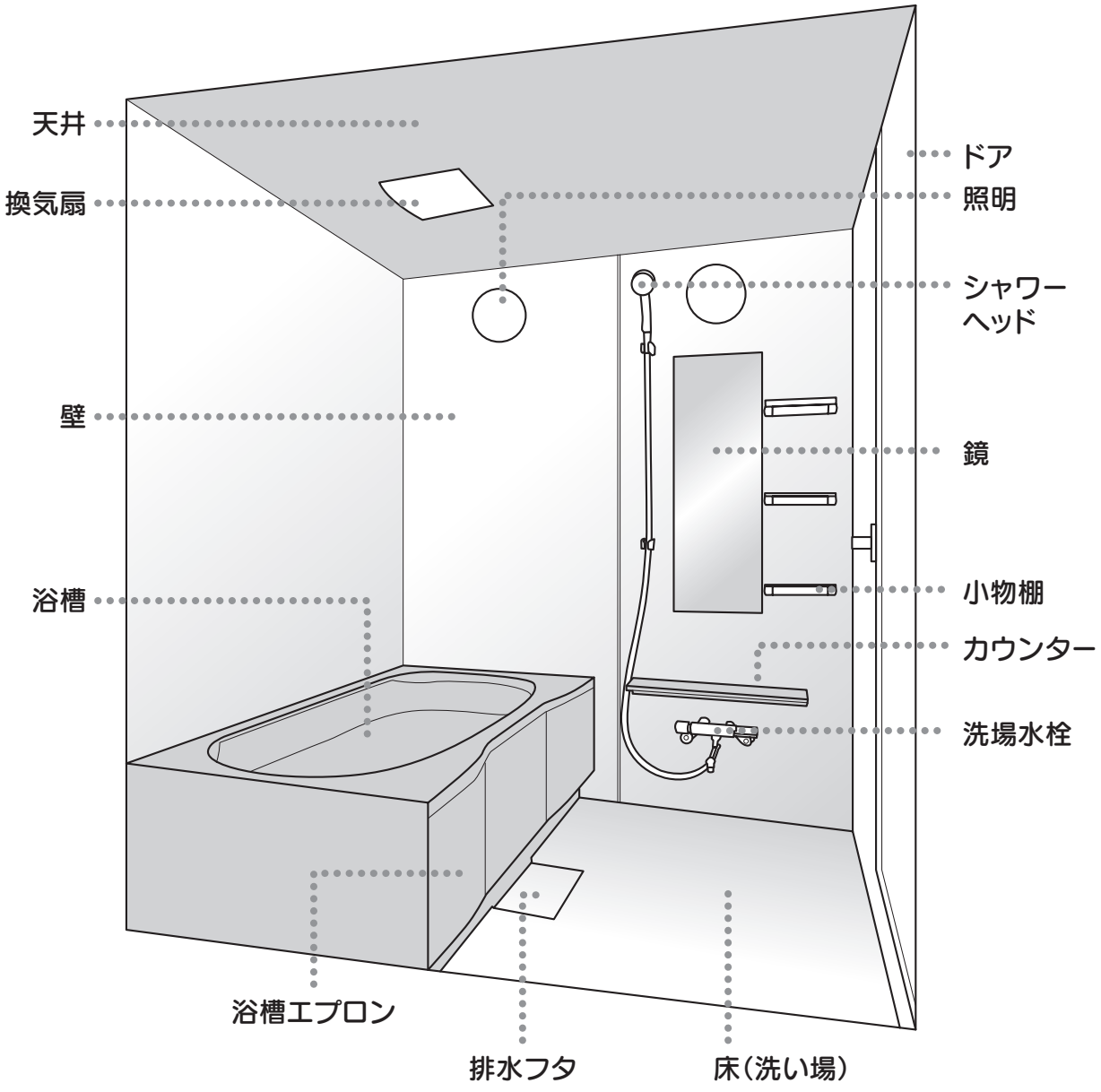
大切に保管してください

このたびは「ハウステック システムバスルーム」を お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書は「ハウステック システムバスルーム」を長くご愛用いただくために、
正しい使い方やお手入れ方法などを説明しています。

- ご使用前によく読んで正しくお使いください。
- 転居される場合、次に入居される方に、取扱説明書をお渡しください。
- 水栓・換気扇などの専用取扱説明書もあわせてお読みください。
- 取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管ください。

各部のなまえ



この図は各アイテム組みあわせの一例です。
プランごとに組みあわせが異なったり付属しない部品もあります。

もくじ

安全に関する
ご注意はご使用前に
必ずお読みください。

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 4

水栓やドアなど、
各部品の使い方や、
使用上のお願いなどを
説明しています。

使い方

浴槽にお湯をためる …… 8
浴槽に入る …… 10
洗い場で水栓を使う …… 11
洗い場でお湯を使う …… 13
カウンターを使う …… 14
鏡を使う …… 15
器具類を使う …… 16
ドアを開閉する …… 18
換気する …… 21
快適に使っていただくために …… 22

お手入れの
心がけや、部品ごとの
お掃除方法などを
紹介しています。

お手入れ

お手入れのキホン1・2・3 …… 23
浴槽まわりのお手入れ …… 30
排水まわりのお手入れ …… 32
床・壁・天井まわりのお手入れ …… 34
カウンターまわりのお手入れ …… 35
水栓のお手入れ …… 36
ドアのお手入れ …… 38
照明・鏡のお手入れ …… 40
換気扇・器具類のお手入れ …… 42

使っていて
不具合を感じたときに
お読みください。

困ったときは

「あれ？」と思ったら …… 44
アフターサービスについて …… 48

安全上のご注意①

必ずお守りください

◎ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

◎お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

◎表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠警告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」を示しています。
⚠注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」を示しています。

◎お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	意味
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	このような図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠警告

ホームバブルの吸込口カバーやフィルターを外したり緩んだ状態のままで使用しない

●運転中に吸い込まれて、おぼれたりけがをするおそれがあります。

ホームバブルの吸込口を絶対にふさがない

●運転中に吸い込まれて、けがをするおそれがあります。

ホームバブルの運転中に浴槽内のお湯に絶対に潜らない

●運転中に吸い込まれて、おぼれたりけがをするおそれがあります。

ホームバブルはお子様だけで入浴中の運転はしない

●運転中に吸い込まれて、おぼれたりけがをするおそれがあります。

安全上のご注意②

⚠警告

照明器具にタオルなどを掛けない

●過熱して、火災の原因になるおそれがあります。

照明器具のカバー(グローブ)を外したり、破損したまま使わない

●感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。

フロフタに乗ったり、体重をかけたりしない

●おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

照明器具や換気扇の手入れは電源(スイッチ)を切ってから行う

●感電やけがをするおそれがあります。

分解、修理、改造をしない

●感電や故障の原因になることがあります。

排水栓は排水口に確実に押し込む

●空だきとなり、火災の原因になるおそれがあります。

組み込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る

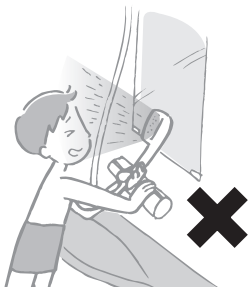
●使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

幼児や身体の不自由な方だけで入浴させない

●おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。

浴室内で幼児だけで遊ばせない

●おぼれたり、けが・やけどをするおそれがあります。



お酒を飲んで入浴しない

●足をすべらせ転ぶおそれがあります。

安全上のご注意③

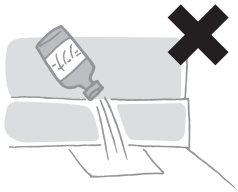
⚠注意

バスルームは石けん液などですべりやすくなるので気をつける

●転んでけがをするおそれがあります。

排水口にシンナーなどの溶剤を流さない

●排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

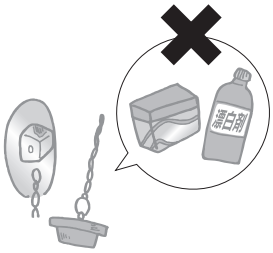


器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは必ず販売店などに相談する

●誤った取り付けをすると思わぬ事故や水漏れの原因になることがあります。

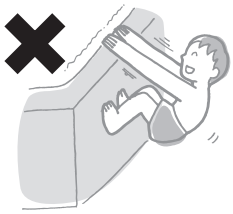
固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしない

●金属やゴムが腐食・劣化して水漏れの原因になります。



浴槽に無理な力をかけない

●ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。



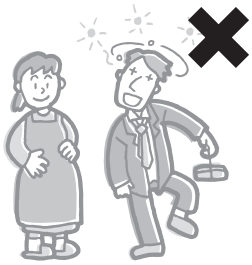
フロフタは必ず浴槽にあったものを使用する

●フロフタが外れたりしてけがややけどをするおそれがあります。

安全上のご注意④

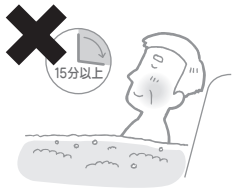
⚠注意

ホームバブルを次の方は使用しない



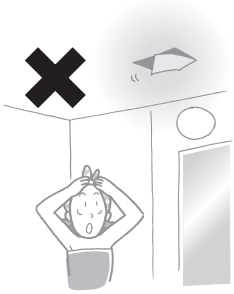
●①妊産婦　②心臓疾患のある方　③高血圧の方　④泥酔者
⑤睡眠薬を服用している方　⑥体力の弱っている方、持病のある方
身体に異常を起こすおそれがあります。

15分以上ホームバブルを使用しない



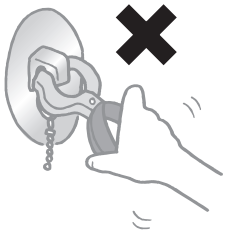
●心臓に負担をかけるおそれがあります。

バスルームの点検口のフタは、設備点検時以外絶対にあけない



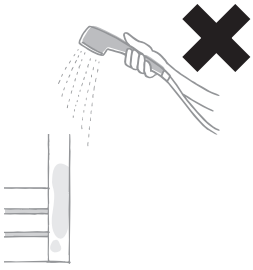
●フタが外れ、けがをしたり水が漏れるおそれがあります。

排水栓をつないでいるくさりの浴槽取り付け部を無理にまわさない



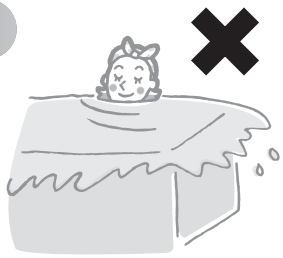
●取り付け部がゆるむと水漏れのおそれがあります。

ドアに勢い良く水をかけない



●水漏れのおそれがあります。

浴槽から勢い良くお湯を溢れさせない

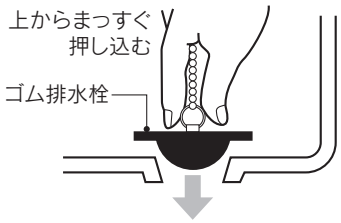


●バスルーム外に水が溢れたり、洗い場のフタ（排水フタ）が外れて転倒するおそれがあります。

浴槽にお湯をためる①

排水栓を開閉する

●ゴム排水栓
鎖のついたゴム栓を浴槽排水口に上から真っすぐ手で確実に押し込んで、浴槽にお湯をためます。



⚠警告

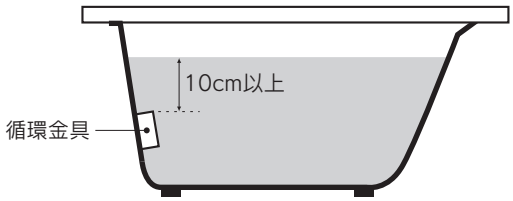
排水栓は確実に閉める
空だきとなり、火災の原因になるおそれがあります。

⚠注意

排水栓の上に乗らない
つまづいてけがをしたり、故障の原因になります。
また、排水栓が浮いてお湯が抜ける場合があります。

給湯機からお湯をはる

●給湯機からお湯をはる場合は、循環金具の上端より10㎝以上になるように水位を設定してお湯はりを行ってください。



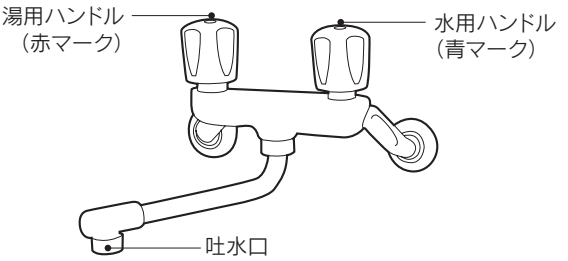
●循環金具より下の水位でお湯はりを行った場合、空だきの原因となりますのでご注意ください。

お願い

- **24時間風呂装置は使用しないでください。**
  浴槽の表面が変色したり、荒れたり、傷む原因になります。
- **お湯はりの温度設定は50℃以下にしてください。**
  50℃を超えた高温でお湯をはると、浴槽の表面が変色したり傷む原因になります。

浴槽水栓からお湯を出す

●左右のハンドルで、水とお湯の量を調整して使用ください。



水栓はこの他のタイプが使用される場合があります。

お願い

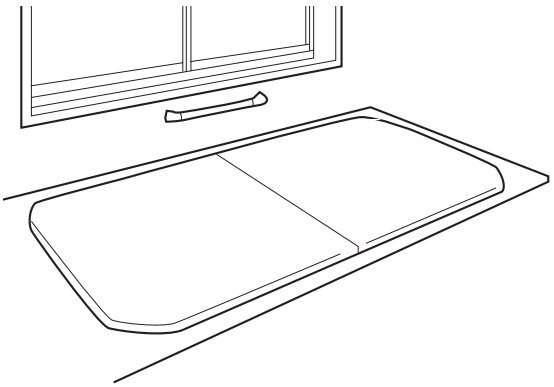
- **お湯を出したあとは金属部分が熱くなりますので手で触らないでください。**
  やけどをするおそれがあります。
- **浴槽に直接熱湯（60℃以上）を入れないでください。**
  表面が変色したり傷む原因になります。
- **浴槽水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。**

浴槽にお湯をためる②

風呂フタを置く

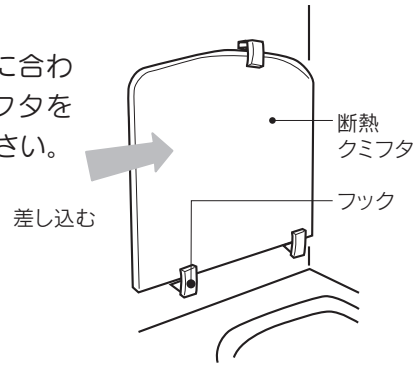
浴槽にお湯を入れて放置する場合は、必ず浴槽にフタをしておいてください。

●風呂フタは浴槽の開口部を均等に覆うように置いてください。

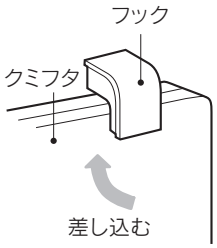


風呂フタを収納する

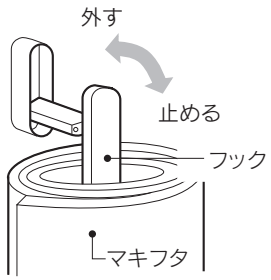
●断熱クミフタ
3ヶ所のフックに合わせて断熱クミフタを差し込んでください。



●クミフタ
クミフタを本体フックの下から差し込んでください。



●マキフタ
必ずフック部をつまんで上げ下げしてください。



⚠警告

風呂フタに乗ったり、体重をかけたりしない

おぼれたり、やけどやけがをするおそれがあります。

⚠注意

風呂フタは必ず浴槽にあったものを使用する

風呂フタが外れたりして、けがややけどをするおそれがあります。

⚠注意

フック部が、外れたり、破損した状態で使用しない

引っ掛けたりしてけがをするおそれがあります。

折りたたみタイプはフック部をつまんで上げ下げする

フック部以外をつまんで上げ下げすると、指をはさむおそれがあります。

お願い

●**風呂フタは必ず当社専用品をご使用ください。**
一般市販品には、一部可塑剤が入っているものがあり、浴槽表面を傷めるおそれがあります。
風呂フタをご購入の際は、お求めの販売店またはサービス代理店までご連絡ください。

お願い

●**物をぶら下げたり、引っ張ったりしないでください。**
無理な力を加えるとフック部が外れたり、破損することがあります。

●**フック部を引っ掛けたまま風呂フタを取らないでください。**
破損することがあります。

浴槽に入る

ご使用にあたってのお願い

⚠注意

浴槽に無理な力をかけない
ヒビが入って、水が漏れたり、けがをするおそれがあります。

浴槽から勢い良くお湯をあふれさせない
バスルーム外に水があふれたり、洗い場のフタ（排水フタ）が外れて転倒するおそれがあります。

⚠注意

追いだき運転中は、浴槽の循環金具に近づかない
自動運転中は、循環金具から自動的に熱いお湯が出てやけどをするおそれがあります。

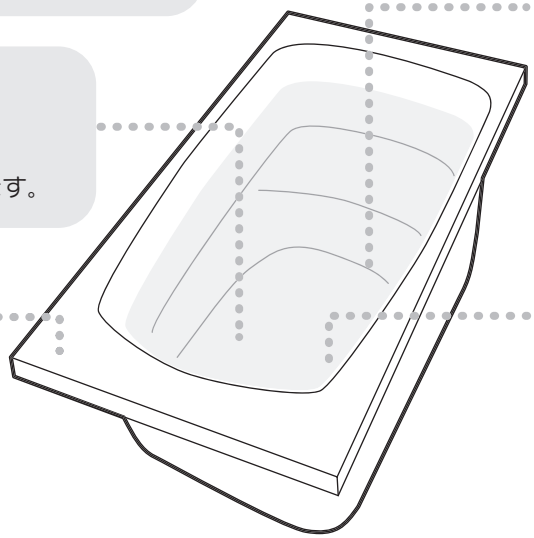
給湯機は専用の取扱説明書がありますので、あわせてご覧ください。

⚠注意

入浴前に湯温を確認する
やけどをするおそれがあります。

⚠注意

浴槽の上には乗らない
足をすべらせて、けがをするおそれがあります。



風呂水洗浄剤を使わないで

風呂水洗浄剤を使わないでください。
風呂水洗浄剤が入ったお湯を、浴槽に長時間ためておくと、浴槽や排水口のパッキンを傷める原因になります。

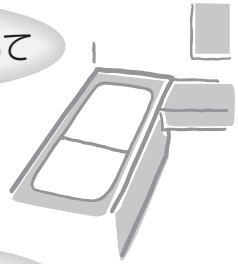
入浴剤は選んで

硫黄分が入った入浴剤や温泉水は使用しないでください。
配管部などを傷めたり、浴槽や水栓を変色させるおそれがあります。

保温浴槽について

保温浴槽仕様の場合は、その優れた保温性を生かすため、温かさを逃さない入浴を心がけてください。

風呂フタはこまめに置いて



風呂フタをこまめに置いて、浴槽のお湯が冷めるのを抑えましょう。

入浴中の換気は避けて

入浴中の換気はせっかく温まった浴室の空気を逃がすことになるので避けてください。

使わない時は浴槽のお湯を抜いて

ずっとお湯をはったままですと、浴室内に湿気が残ったままになります。みんなの入浴が終わったら浴槽のお湯を抜いて換気を良くしましょう。

ドアの開閉はやさしくしっかりと

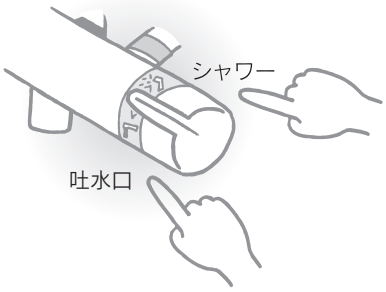
ドアが閉まっていないと、温まった浴室の空気が冷めてしまいます。ドアはやさしくしっかり閉めましょう。

洗い場で水栓を使う①

ご使用にあたってのお願い

ハンドル操作はよく確かめて

水栓の切替ハンドルを操作するときは、シャワーと吐水口の位置をよく見て、操作してください。



ゆっくりとハンドル操作して

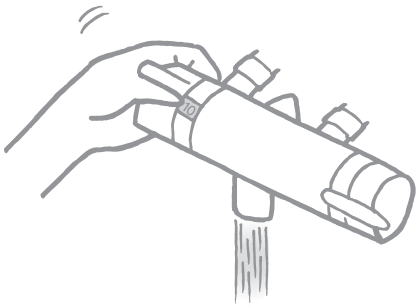
切替ハンドルを急激に動かすと配管を傷める原因になります。ゆっくりと操作してください。

湯温の確認も忘れずに

熱いお湯が出るのを防ぐために、水栓からお湯を出すときは、手で軽く温度の確認をお願いします。

熱いお湯には気をつけて

熱いお湯を出したあとは、水栓の中に残っているお湯を冷ますために、しばらく水を出してください。



表示通りの温度でお湯が出ないときは、専用の取扱説明書に記載されている調整方法をお試しください。

専用説明書の確認

水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。

SANEI

サーモスタットシリーズ

サーモシャワ混合栓

……SK1812D・SK1812DC
（寒冷地用・SK1812DK・SK1812DCK）

施工・取扱説明書

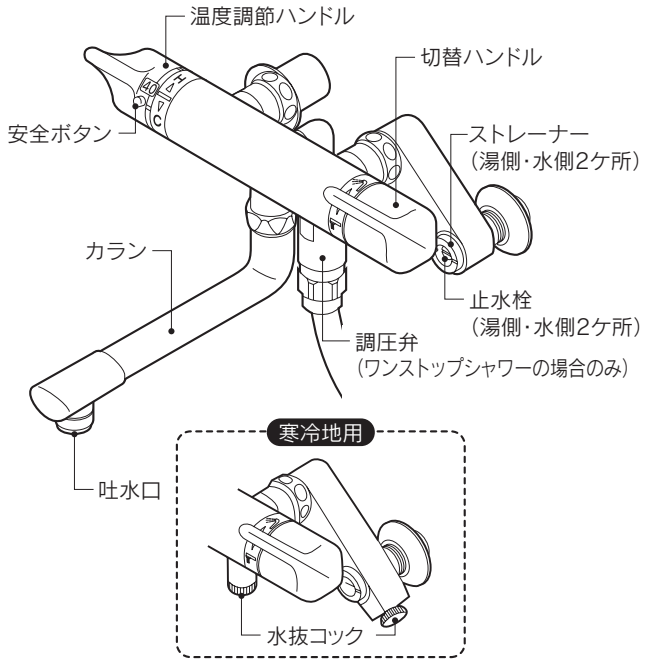
壁付水栓の場合

水栓・シャワーヘッドはこの他のタイプが使用される場合があります。

洗い場で水栓を使う②

壁付サーモシャワー水栓

各部のなまえ



吐水・シャワーの切替

●シャワー

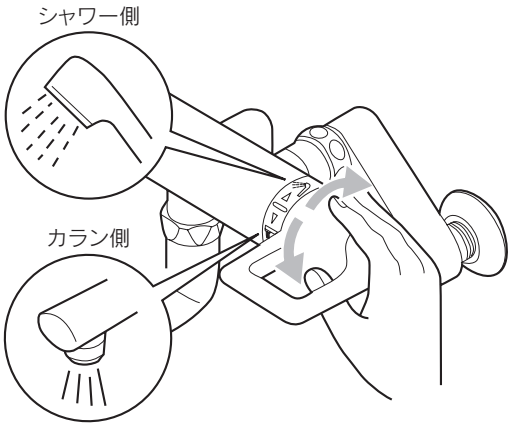
切替ハンドルを上にまわす

水が出ます。また、上いっぱいにまわすと流量が最大になります。

●カラン

切替ハンドルを下にまわす

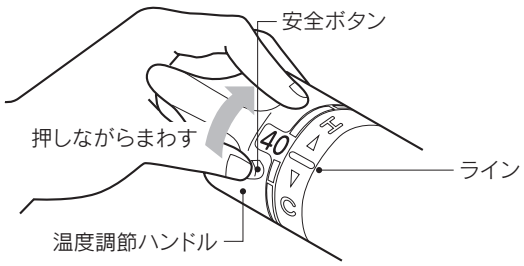
水が出ます。また、下いっぱいにまわすと流量が最大になります。



温度の調節

●温度調節ハンドルをまわし、お好みの温度をラインに合わせてください。目盛りは『40』を目安としてください。

●40℃以上のお湯を出すには、安全ボタンを押しながらハンドルをまわしてください。

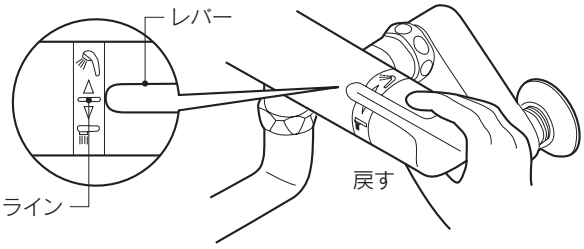


●安全ボタンを押して高温のお湯を出した場合は、ハンドルを必ず目盛り『40』以下に戻しておいてください。

目盛りの『40』は吐水温度の目安です。

水（湯）を止める

●切替ハンドルのレバーを水栓本体のラインの位置まで戻すと水が止まります。



凍結予防のしかた

●水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因になります。

●凍結のおそれがあるときは、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

●凍結が予想される地域で水栓を使うときは、水栓内の水が凍らないよう凍結予防の作業を行ってください。

凍結による破損は保証期間内でも有料修理になります。

一般地用の場合

一般地用の水栓は以下の処置によって凍結を予防してください。

●水栓より少量の水を出す。

●配管部などに保温材を巻く。

寒冷地用の場合

詳しくは専用の取扱説明書をお読みください。

洗い場でお湯を使う

床について

⚠注意

バスルーム内は石けん液などで
すべりやすくなるので気をつける

転んでけがをするおそれがあります。

割り込み Q&A

Q. 旅行から帰ってきたら、バスルームから変なにおいがしました。異常でしょうか。

A. 長期間留守にした場合、排水トラップにためている水：封水が蒸発し、排水管の臭気がのぼり、バスルームに悪臭が発生する場合があります。
この場合は、洗い場と浴槽の排水口に洗面器1杯の水をそれぞれ静かに流し、排水トラップの封水をためて排水管の臭気を抑えてください。

Q. 使用できない洗面器・風呂いすはありますか？

A. 浴室用以外のものは避けてください。なお、浴室用であれば木製のものでもご使用できます。

Q. 毛染め液をこぼしたらどうなりますか？

A. 染み込んで取れなくなるおそれがあります。広がらないようすぐにふき取って、洗い流してください。

Q. お手入れで取れない汚れはありますか？

A. さびがつくと取れなくなります。
ヘアピンやカミソリの刃などを床に置いたままにしないでください。もらいさびがつきます。

洗い場での排水について

洗い場の排水口には、排水トラップ（水をためて臭気止めをする機構）がついています。

- この排水トラップは、洗い場の排水口と浴槽の排水口がつながっています。そのため洗い場からバケツなどで水を急激に流すと浴槽排水口の水位が上がりますので、静かに流してください。

⚠注意

排水口にシンナーなどの溶剤を
流さない

排水部分が損傷して、水漏れの原因になることがあります。

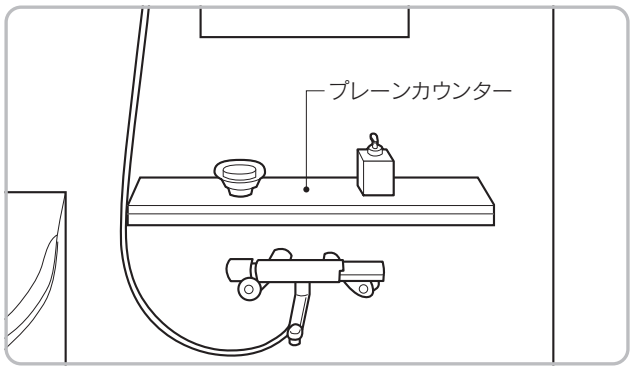
お願い

- **排水口のヘアーキャッチャーを取り外した状態で使用しないでください。**
  毛髪やごみなどの詰まりの原因となります。
- **排水トラップの封水を切らさないでください。**
  封水がなくなると、排水管内に発生しているガスが、メッキ・金属製品やゴム部品の腐食や変色の原因になります。

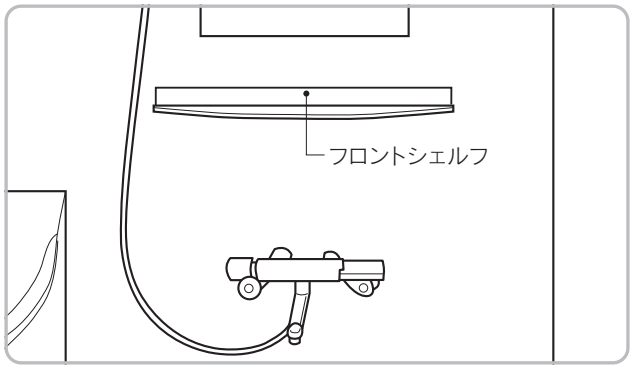
カウンターを使う

各部のなまえ

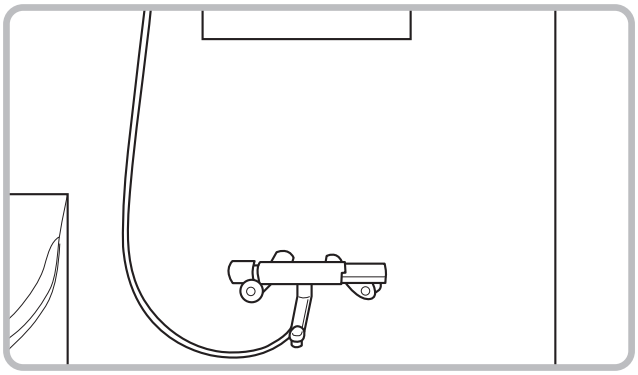
●プレーンカウンタータイプ



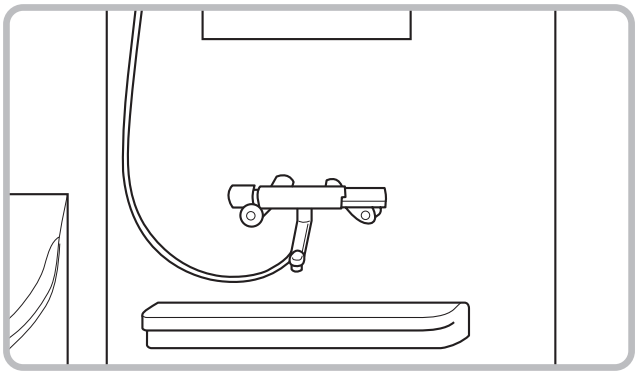
●カウンターなし（フロントシェルフ付き）



●カウンターなし



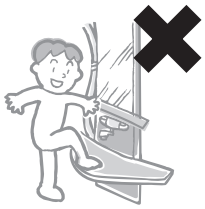
●収納パネルタイプ



使い方

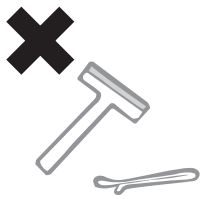
お願い

●カウンターの上に腰かけたり、乗ったりしないでください。
破損したり、足をすべらせてけがをするおそれがあります。



●クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料をカウンターに置く場合、液だれがないようふきとって置いてください。
液に含まれる成分がカウンターを傷めるおそれがあります。

●さびやすいものをカウンターの上に放置しないでください。
もらいさびにより、さびがとれなくなるおそれがあります。



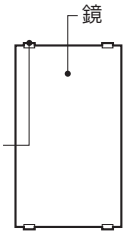
鏡を使う

鏡について

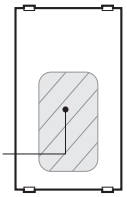
鏡には一般タイプの鏡と、鏡裏面にヒーターを貼り付けた鏡があります。

● 一般タイプの鏡
くもり止め機能なしタイプです。

湯気でくもります。



● くもり止めヒーター付鏡
鏡裏面にヒーターを貼り付けた鏡です。
ヒーターの熱でくもりを抑えます。
※くもり止め範囲はヒーターを貼り付けた部分



お願い

●鏡に物をぶつけたり、たたいたりしないでください。
割れるおそれがあります。

割り込み Q&A

Q. 鏡がくもるのはなぜでしょうか。また、くもらないようにする方法はありませんか。

A. 鏡のくもりは、入浴中の温かい空気に含まれる水分が冷たい鏡の表面にふれ、水滴となって現れる現象です。この水滴の粒が鏡を見づらくさせるのです。
石けん水を含んだタオルで鏡の表面をふいていただくと水膜ができ、一時的にくもりを抑えることができますのでお試しください。

くもり止めヒーター付鏡

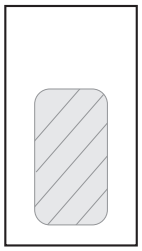
●入浴前にくもり止めヒーターの電源（スイッチ）を入れてください。
●10～15分でくもりがほぼとれます。
●入浴後は電源（スイッチ）を切ってください。

長時間バスルームを閉め切っていると、くもりの粒が大きくなり、なかなかくもりが取れない場合があります。その場合は、一度シャワーなどで鏡にお湯をかけて、洗い流してください。

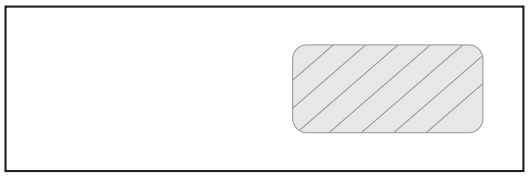
くもり止め範囲について

●鏡のくもりは全面取れるわけではありません。図の▨部がくもり止め範囲の目安となります。
また、角部が丸くなりますが故障ではありません。

●縦長タイプ



●横長タイプ（洗い場側のみ）



鏡の大きさ（長さや横幅）が違っても、くもり止め範囲（温熱範囲）は約20×42㎝です。

お願い

●鏡に寄りかかったり、長時間触り続けないでください。
鏡の割れによるけがや低温やけどのおそれがあります。特に夏場では鏡表面が45℃以上になる場合があり、危ないのでやめてください。

器具類を使う①

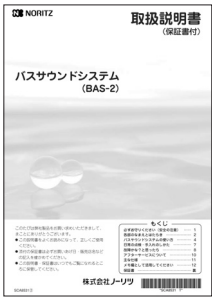
専用取扱説明書の確認

以下の機器は専用の取扱説明書をご用意していますので、お手入れ方法はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

換気扇

換気乾燥機

バステレビ



バスオーディオ

給湯機やこの他の機器についても、専用の取扱説明書がある場合は、よくお読みになって正しくご使用ください。

照明

警告

照明器具にタオルなどを掛けない

過熱して、火災の原因になるおそれがあります。

照明器具のカバー（グローブ）を外したり、破損したまま使わない

感電したり、電球が割れてけがをするおそれがあります。

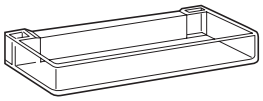
お願い

- **器具の改造や部品の交換は行わないでください。**
  落下、感電、火災などの原因となります。
- **電球を外したまま、使用しないでください。**
  感電、火災などの原因となります。
- **点灯中及び消灯後しばらくは高温になっていますので、照明には手を触れないでください。**
  やけどの原因となります。
- **照明には直接水やお湯をかけないでください。**
  故障の原因となります。

器具類を使う②

収納棚

●ワイドシェルフ

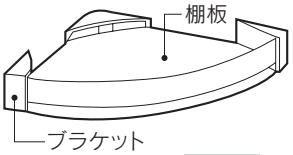


3kgまで

●フロントシェルフ

2kgまで

●コーナーシェルフ



3kgまで

お願い

- **各棚（1段ごと）に　　で表示した以上のものを置かないでください。**
  変形や破損の原因になります。
- **棚にぶら下がったり、強く引っぱらないでください。**
  破損したり、転倒などで、けがをするおそれがあります。
- **クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料を棚に置く場合、液だれがないよう、ふきとって置いてください。**
  液に含まれる成分が棚を傷めるおそれがあります。
- **さびやすいものを棚に放置しないでください。**
  もらいさびにより、さびがとれなくなるおそれがあります。
- **棚にフックなどをかけないでください。**
  変形や破損の原因になります。

タオル掛け

⚠注意

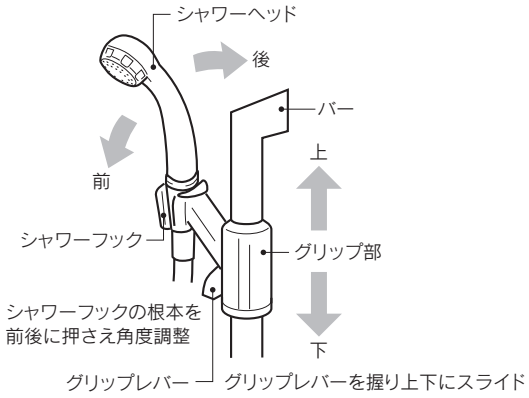
タオル掛けにつかまり立ち上がったり、ぶら下がったりしない

破損したり、転倒などでけがをするおそれがあります。

シャワーフック付握りバー

シャワーフック付握りバーは、シャワーフックが上下スライドして、使いやすい位置に高さや角度を調整できます。

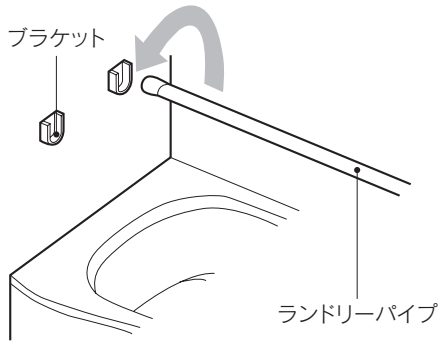
●サイドフックタイプ



お願い

- **スライドバーにつかまり、立ち上がったりしないでください。**
  無理な力が加わり、上下に動き転倒などでけがをするおそれがあります。

ランドリーパイプ



⚠注意

ランドリーパイプにぶら下がらない

破損したり、転倒などでけがをするおそれがあります。

お願い

- **ランドリーパイプに10kg以上のものを掛けないでください。**
  パイプが外れるおそれがあります。

ドアを開閉する①

ご使用にあたってのお願い

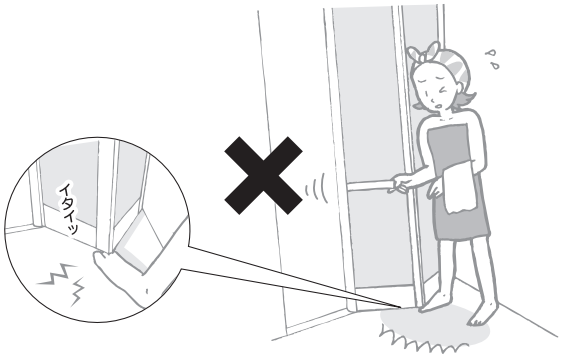
⚠注意

ドアに勢い良く水をかけない
水漏れのおそれがあります。

ドアのパッキンが切れたり、外れたまま使わない
水漏れのおそれがあります。

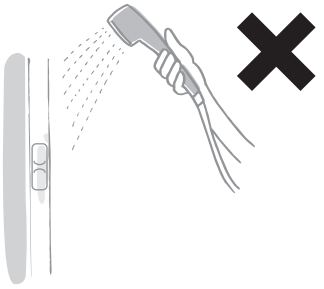
ドアの開閉は勢いよくしないで

ドアを勢いよく開閉したり無理な力を加えたりしないでください。
手や足を挟んでけがをしたり、バスルーム外に水やお湯が出るおそれがあります。



ドアのつまみ(ロック)にシャワーをかけないで

ドアのつまみ(ロック)にシャワーをかけないでください。
ロックの故障原因になるおそれがあります。



ハンドル(引手)に体重をかけないで

ドアのハンドルや引手に体重をかけたり、お子さまがぶら下がったりしないようにしてください。
ドアが外れ、けがをするおそれがあります。

ドアにずっと寄りかからないで

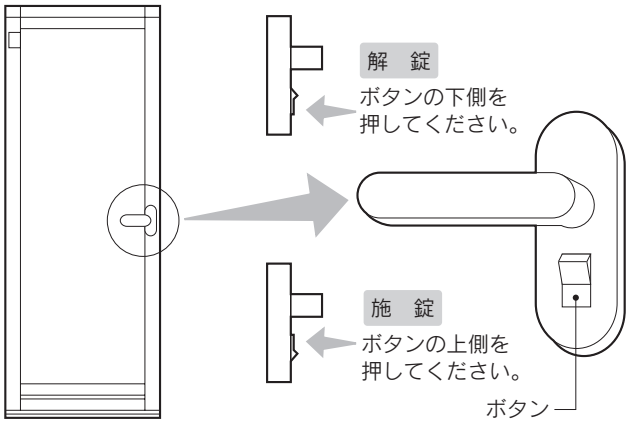
ドアにずっと寄りかからないでください。
ドアの面材(樹脂の部分)が変形したり、割れてけがをするおそれがあります。

ドアを開閉する②

框戸

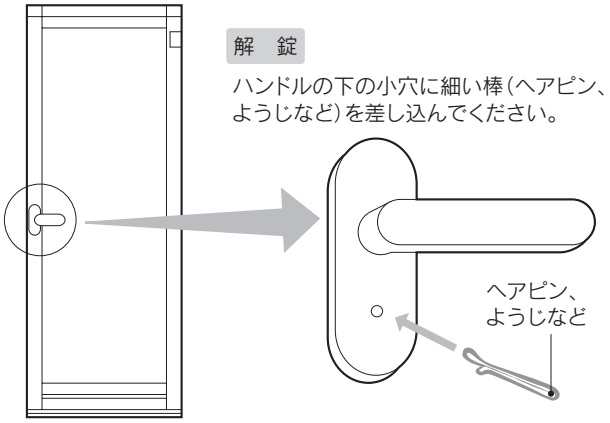
ロック(施錠)する

●バスルームからの施錠と解錠



ボタンの上側を押したままドアを閉めると、鍵がかかってしまいます。バスルームから出るときには気をつけてください。

●脱衣室側からの解錠(非常救出時)



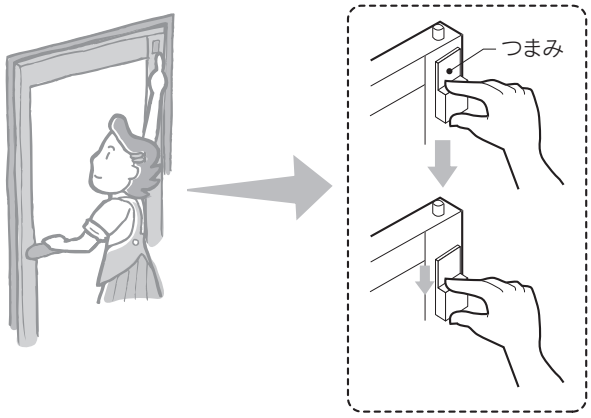
ドアを取り外す

非常時は脱衣室側よりドアを取り外すことができます。

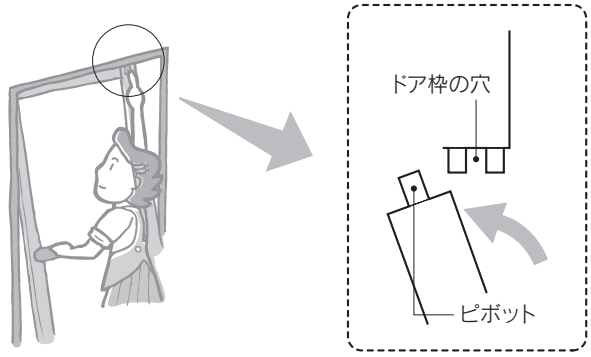
取り外し方

①ロックを解錠します。

②ドアロックのレバーハンドルを持ちながらドア吊り元上部のつまみをゆっくり下げてください。



③つまみを下げたままドア上部をバスルーム内側に少し倒し、ドアのピボットをドア枠の穴から取り外してください。



取り付け方

取り付けは逆の手順で行ってください。

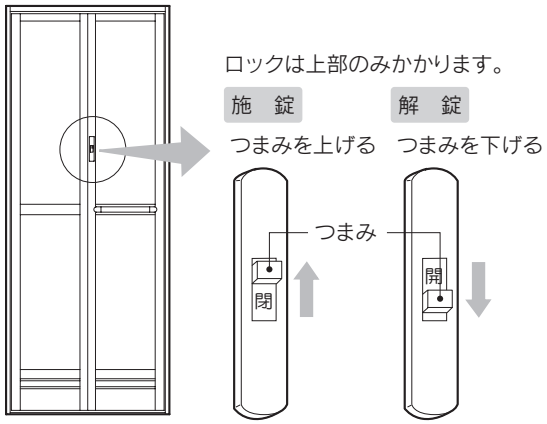
非常時以外はつまみに触らないでください。

ドアを開閉する③

折戸

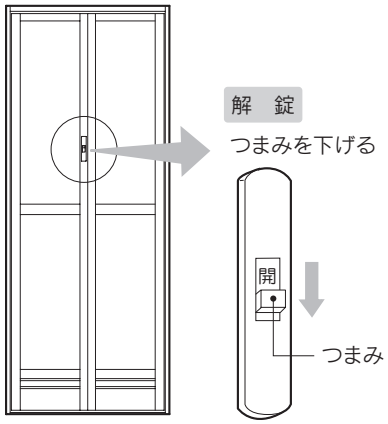
ロック(施錠)する　※ロック付きの場合

●バスルームからの施錠と解錠



必ずドアを閉めた状態でつまみを操作してください。

●脱衣室からの解錠(非常救出時)



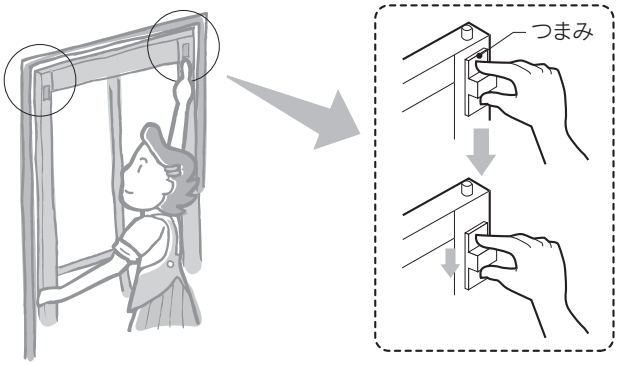
ドアを取り外す(GW･GX-Lのみ)

非常時は脱衣室側よりドアを取り外すことができます。

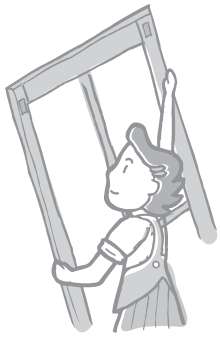
取り外し方

①ロック付きの場合、解錠します。

②○で囲んだ部分のつまみ(2ヶ所)を下げながらドア上部をバスルーム側に倒してください。
その際ドア上部は片方ずつ外してください。



③両手でしっかりとドアを持ち、脱衣室側に取り外してください。



取り付け方

取り付けは逆の手順で行ってください。

非常時以外はつまみに触らないでください。

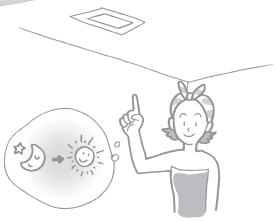
換気する

換気の心がけ

バスルームを蒸気のこもったままにしておくと、悪臭やかびなどの発生原因になります。
また、バスルームの傷みが早くなることもありますので、換気、乾燥を心がけましょう。

換気は３時間を目安に

不充分な換気はかびの原因になります。入浴後、換気扇を３時間を目安に運転してください。



24時間換気に対応していない換気扇で24時間の換気運転をすると、換気扇のご使用年数が極端に短くなります。専用の取扱説明書もあわせてお読みになって、ご使用ください。

入浴中の換気は避けて

換気扇内で発生した結露水が落ちてきたり、ドアのガラリから脱衣室の空気が流れ込み寒く感じることがありますので、入浴中の換気は避けてください。

24時間換気を行っている場合は、入浴後に必ずスイッチを入れて24時間換気を続けてください。

風呂フタはこまめに置いて

浴槽にお湯がある時は必ず風呂フタをして換気してください。入浴中以外はこまめに風呂フタを使用しましょう。

入浴後は水をかけて

最後に入浴した人が壁や床に冷水のシャワーをかけておくと、こもっていた蒸気が冷えて、換気効率が上がります。

床面、天井および浴槽の表面に付いた水滴は、換気扇をまわしても、湿度の高い雨の日や寒い冬の日等には取れないことがありますのでご了承ください。 特に床の凹凸パターン等に一部水滴が残りますのでご了承ください。

専用説明書の確認

換気扇、換気乾燥機は専用の取扱説明書をご用意しています。使い方などはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

換気乾燥機の場合

換気扇の場合

換気扇、換気乾燥機はこの他のタイプが使用される場合があります。

割り込み Q&A

Q. 換気していればかびは発生しませんか。

A. かびは温度、水分、栄養源の3点が揃うと繁殖するので、換気だけでかびの発生を抑えることはできません。
かびの栄養源になるバスルームの汚れを取り除いてから、湿気を防ぐための換気をすることが、かびの発生を抑えるポイントになります。
かびが生えない清潔なバスルームを保つには、こまめなお手入れと十分な換気を心がけましょう。

［かびが発生する3大要素］

快適に使っていただくために

床・浴槽・カウンター

お願い

●**おもちゃや硬いものでこすったり、ひきずったり、重くて硬いものを落さないでください。**
傷が付いたり、破損するおそれがあります。

●**ヘアピンやカミソリの刃などを置いたままにしないでください。**
もらいさびがつくおそれがあります。

●**浴槽に熱湯(60℃以上)を入れないでください。**
表面が変色したり傷む原因になります。

壁・天井・ドア

お願い

●**硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。**
傷が付き破損するおそれがあります。

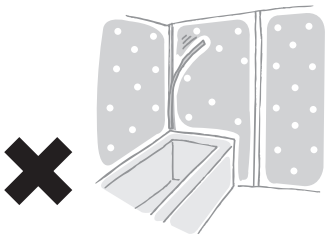
●**壁、天井への穴あけ、釘打ちなどは絶対にしないでください。**

●**壁面に吸盤付の石けん受けなどを取り付けないでください。**
吸盤が壁面を変色させることがあります。吸盤が直接壁面に触れないように注意してください。

目地・コーキング・ドアパッキン

お願い

●**床、壁、天井などの継目部分にある目地やコーキング、ドアパッキンを傷つけたり、切ったり、取り外したりしないでください。**
水漏れのおそれがあります。



●**入浴後、目地やコーキング、ドアパッキンにかびなどが生えないよう換気してください。**
お手入れで取れないかびがついた場合は、目地やパッキンの交換またはコーキングの打ち直しが必要になります。

その他

お願い

●**バスルーム内でタバコを吸ったり、その他の火気(コンロ、ストーブなど)を使用しないでください。**
火災、コゲなどの原因になります。

●**毛染液、染料を使ったあとは軽くふき取り、すぐに洗い流してください。**
しみ込んで取れなくなるおそれがあります。

●**シャンプーなどの洗浄剤、入浴剤は部材に残らないよう洗い流したり、ふき取ってください。**
液に含まれる成分が部材を傷めるおそれがあります。

●**お手入れの目的以外で、指定していない部品を取り外したり、ねじなどを緩めて、分解しないでください。**
元の状態に戻せない場合は、本来の機能・強度に戻らず、故障の原因になります。

お手入れのキホン

この章ではバスルームの「お手入れのキホン」を紹介しています。
バスルームは部材の汚れや種類によってお手入れ方法が違います。
それぞれにあったお手入れを怠ると、傷や汚れの原因となります。
「キホン」に応じた適切なお手入れを行ってください。

お手入れを始める前に
お読みください

キホン1
部分ごとの汚れを知りましょう。

キホン2
洗剤と道具は正しく使いましょう。

キホン3
お手入れの計画を立てて実践しましょう。

お手入れのキホン①

キホン1 部分ごとの汚れを知りましょう。

天 井

●おもな汚れ
ほこり、かび

気をつけること
お手入れをしたときの天井に付いた洗剤を洗い流すためのシャワーは、換気扇などの機器にかからないようにしてください。

壁

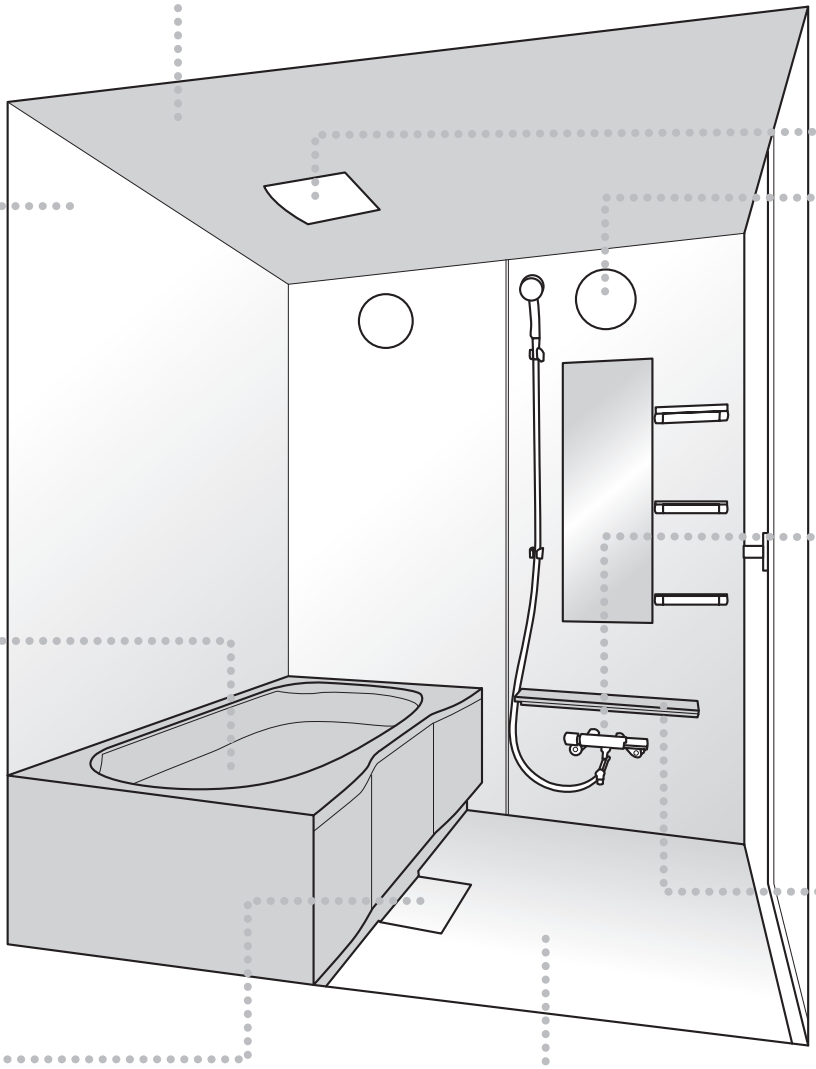
●材質：樹脂被膜鋼板
●おもな汚れ
かび、飛び散ったシャンプー

気をつけること
飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤を放っておくとかびの原因になります。

浴 槽

●材質
繊維強化プラスチック
●おもな汚れ
湯あか、もらいさび

気をつけること
硬いスポンジやブラシ、クレンザー（みがき粉）などを使うと傷が付きます。また、ヘアピンなどを置きっぱなしにすると、もらいさびが付いてしまいます。



排水まわり

●材質
排水トラップ：ＡＢＳ
排水フタ：ＰＰ（プラスチック）
●おもな汚れ
髪の毛などのごみ、ぬめり

気をつけること
髪の毛が排水トラップにたまったままにしておくと排水しにくくなります。

ド ア

●おもな汚れ
かび、飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤

気をつけること
飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤を放っておくとかび、ぬめりの原因になります。
パッキンにかびが生えると落ちにくくなります。

換気扇類

●おもな汚れ
グリルに付くかび、フィルターのごみ

気をつけること　グリルを外して洗うときは電源スイッチを切ってください。

照 明

●おもな汚れ
カバー(グローブ)に付くかび

気をつけること　カバー(グローブ)を外して洗うときはスイッチを消してください。

水 栓

●おもな汚れ
水栓本体:水滴のあと･ストレーナーの目詰まり
ホース:かび

気をつけること　水滴のあとはそのままにしておくと頑固な汚れになって落しにくくなります。

カウンター

●おもな汚れ
水あか、シャンプーなどの洗浄剤や化粧品の液だれ

気をつけること　シャンプーなどの洗浄剤の液だれを放っておくとかび、ぬめりの原因になります。
クレンジングオイルや整髪料の液だれを放っておくとカウンターの表面を傷めるおそれがあります。

床(洗い場)

●材質:FRP(繊維強化プラスチック)
●おもな汚れ
湯あか、石けんかす
シャンプーなどの洗浄剤

気をつけること　汚れがたまったままにしておくと床の水はけが悪くなります。

割り込み Q&A

Q. 床やカウンター、鏡などに白い汚れがついて取れません…

A. 白い汚れのほとんどは、こびりついて堆積(たいせき)してしまった水アカです。いったんついてしまった水アカは、通常の浴室用洗剤ではなかなか落とせません。
それでも汚れを落とすには、部材ごとにあった専用クリーナーと、専門の技術で落とします(有償)。
詳しくはお買い上げの販売店または当社の窓口にご相談ください。

器具類

●おもな汚れ
水滴のあと、かび

気をつけること　器具を壁に取り付けた部分にたまる水分やほこりを放っておくと頑固な汚れの原因になります。

鏡

●おもな汚れ
飛び散ったシャンプー、水滴のあと

気をつけること　飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤を放っておくと水あかの原因になります。

目地･コーキング部

●おもな汚れ
かび、水あか

気をつけること　石けんかすなどの汚れを放っておくと、かびが生える原因になります。また、お手入れで取れないかびがついた場合は、目地の交換またはコーキングの打ち直しが必要になります。

収納棚

●おもな汚れ
水あか、シャンプーなど洗浄剤や化粧品の液だれ

気をつけること　シャンプーなどの洗浄剤の液だれを放っておくとかび、ぬめりの原因になります。
クレンジングオイルや整髪料の液だれを放っておくと棚を傷めるおそれがあります。

お手入れのキホン②

キホン2 洗剤と道具は正しく使いましょう

洗剤

洗剤はおもに界面活性剤のはたらきで汚れを化学的に分解し落とします。
クレンザーなどのみがき粉は化学的な分解で落ちない汚れを落とすために使用します。
汚れの種類にあわせて使いわけてください。

●浴室用中性洗剤

皮脂や石けんかすの付きやすいところ(浴槽、床、壁など)のお掃除に使用します。

洗剤は、おふろのルック(ライオン)、バスマジックリン(花王)がおすすめです。

お願い

●洗剤を使用した後は、洗剤の成分が残らないよう確実に洗い流してください。
中性と表示されている洗剤でも、溶剤が成分として含まれているものがあり、その成分を付着したまま放置しておくと、浴槽や浴槽エプロン、棚や排水栓のパッキンなど各種樹脂製品を傷め、変色や割れの原因となります。

●台所用中性洗剤

機器のリモコンパネルなど、石けんかすが付きにくい樹脂製品のお掃除に使用します。浴室用中性洗剤より成分が部材にやさしいのでいろいろ活用してください。

●浴室用クリームクレンザー

(おふろのルックみがき洗い:ライオン)
洗い場の床や鏡にこびり付いてしまった汚れを落とすために使用します。

「おふろのルックみがき洗い」以外は使わないでください。また、他の部材には使用しないでください。

⚠注意

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり近づけたりしない
金属やゴムが腐食・劣化して水漏れの原因になります。

⚠注意

かび取り剤(漂白剤)
塩素系のかび取り剤は、かびを分解するための成分が強力で、正しい使い方をしないと部品を傷めてしまいます。特にパッキン、目地、コーキング材などバスルームの防水に重要な役割を果たしている樹脂部分は、すぐに傷んでしまいます。スプレーをした後、長時間放置したり、洗剤が残ってしまうと、部品を変色させたり、さびさせてしまうことがあります。使用後は、充分な湯または、水でよく洗い流してください。また、メッキ部品や金属部品へも使用しないでください。さびてしまうことがあります。

次の洗剤・薬品は部品を傷めてしまうので使わないでください。
●みがき粉などの粒子の粗い洗剤
●シンナー　●酸性・アルカリ性の洗剤
●ベンジン　●漂白剤

お願い　**洗剤の扱いは慎重に…**　洗剤は使い方を間違えると部材を傷めたり、人の体に有毒なものになってしまいます。気をつけて使いましょう。

使う前には必ず容器の説明書を読んでください。

洗剤は混ぜて使わないでください。

使ったあとは、洗剤の成分が残らないようにしてください。

使うときはゴム手袋をしてください。

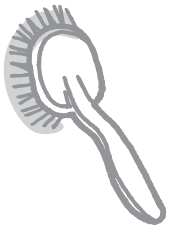
お掃除道具

バスルームの素材にあわないお掃除道具を使うと、表面に傷がついたり、故障の原因になります。
部位ごとに適した道具を揃えてください。

●柔らかいスポンジ

いちばんよく使います。浴槽のような大きな部品をお掃除するには、手に余るくらいの大きなものが便利です。
台所で使う、裏面にナイロンたわしがあるものや、研磨剤が入ったものは使わないでください。

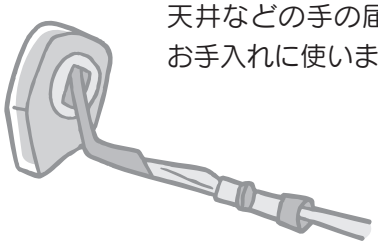
●毛先が樹脂のブラシ



床全体を洗うときに使います。

壁・浴槽など床以外の部分に使用しないでください。

●柄のついたスポンジ



天井などの手の届かないところのお手入れに使います。

●割りばし

ドアの下枠にたまった汚れをかき出したり、とり除くために使います。

●ゴム手袋

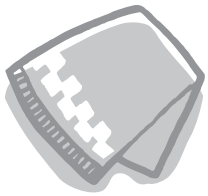
手を保護するために使います。
洗剤を使うときは必ず用意してください。

●歯ブラシ

水栓のストレーナーなど小さな部品を掃除するときに使います。
使い古して捨てる直前の、毛先がはみ出しているものが最適です。

ドアのパッキンや床まわりのコーキングなどに使用しないでください。

●柔らかい布（古タオル）

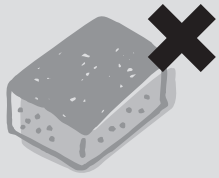


水栓本体を磨いたり、照明のカバー（グローブ）や、機器のリモコンパネルを拭いたりするときに使います。

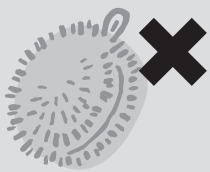
使ってはいけないお掃除道具

頑固な汚れは、たわしのような硬い毛先のブラシ類でゴシゴシこすってしまいがちですが、部材の表面を傷つけてしまうので、使わないでください。
また、洗剤を使わず水だけで汚れを落とす高機能スポンジ（メラミンフォーム製スポンジ）は、長く使うと光沢がなくなってしまいますので、使わないようにしてください。

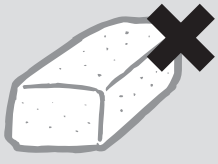
●ナイロン・スチールたわし



●たわし



●高機能スポンジ
（メラミンフォーム製スポンジ）
●研磨剤入りスポンジ



お手入れのキホン③

キホン3 お手入れの計画を立てて実践しましょう

お掃除の秘訣は早め早めの対処から。毎日のお手入れから毎年のお掃除まで、お手入れ計画を簡単に決めて、キレイなバスルームが保てるようお手入れを行ってください。

毎日

毎日 お手入れの心がけ

バスルームを長く
キレイに保つために…

入浴した人は…

- 入浴した人が都度シャワーでカウンターまわりの床に残っている石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

次に入る人のためにも洗い場にシャワーをかけておきましょう。

最後に入浴した人は…

- 最後に入浴した人が壁、洗い場床、ドアなどバスルーム全体に熱めのシャワーをかけて石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

その日の汚れはその日のうちに

- 浴槽の表面や浴槽周囲の目地は柔らかいスポンジで軽くこすって皮脂などの汚れを洗い流してください。

- カウンターや収納の表面はシャンプーなど小物の液だれ・水気をふき取ってください。
- 排水口のヘアーキャッチャーは、髪の毛やごみを捨ててください。

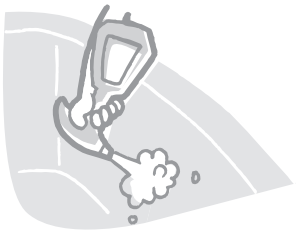
カビ・水あか防止のために

- 室温を下げるために、冷水のシャワーをかけたあと換気扇を3時間を目安に運転してください。

- 水あか防止のために、水気をふき取ってください。

週に1度

●壁、浴槽、浴槽エプロン、ドア、カウンターなどバスルーム全体の表面
柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、石けんかすや皮脂などの汚れを洗い流す。



●水栓、ドアのパッキン
柔らかい布（タオル）に浴室用中性洗剤を薄めて適量とり、汚れをふき取る。

半月に1度

●鏡の表面
柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、汚れを洗い流す。

月に1度

●天井の表面
柄の長いスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、汚れを洗い流す。

●ドアの下枠
ドア枠の下枠（レール）にたまったごみを割りばしにティッシュを巻いたものなどで取り除く

●風呂フタの表面
柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、汚れを洗い流す。

●タオル掛け、握りバー、などの器具類
柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、バーを握るようにして洗う。

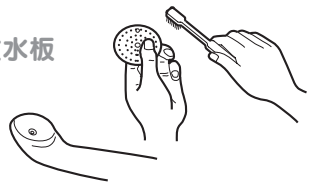
年に1度

●換気扇類のグリル
台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯でザブ洗い。

半年に1度

●壁付照明のグローブ、ダウンライトのカバー
ぬるま湯に浸した柔らかいタオルで汚れをふき取る。

●シャワーヘッドの散水板
外して、歯ブラシでごみや水あかを取り除く。



汚れてきたら

●鏡
柔らかいスポンジにクリームクレンザーを適量とり、汚れを洗い流す。

●給湯機などのリモコン表面
柔らかい布（タオル）に台所用中性洗剤を薄めて適量とり、汚れをふき取る。

●洗い場の床
翌朝に水たまりが残ったり、汚れがたまってきたら、浴室用中性洗剤を床全体に吹きかけ、2～3分おいてから、毛先が樹脂のブラシでこすり洗い。

浴槽まわりのお手入れ①

浴槽・浴槽エプロン

毎　日

●大きめのスポンジで浴槽の中全体を軽くこすってください。お湯を抜いたあと、すぐに洗うと汚れを落しやすく毎日洗うのであれば、洗剤なしでもきれいになります。特に水面（喫水線）の部分は汚れやすいので、この部分だけでも洗いましょう。

週に1度

●浴室用中性洗剤を使って、浴槽の中全体や浴槽の上平面部、浴槽エプロンなどを大きめのスポンジで洗ってください。しつこい汚れは1～2分おいてからこすると汚れが落ちやすくなります。

アドバイス

●コツ1
浴槽掃除のスポンジは大きめを選びましょう。

●コツ2
大きな浴槽の水気をふき取るのが面倒でしたら、浴槽の上平面部だけでもふき取っておきましょう。

お願い

●硬いスポンジ、高機能スポンジ、ブラシ、たわしなどは使用しないでください。
浴槽に傷がつきます。

●洗剤を使用した後は充分に洗い流してください。
浴室用中性洗剤であったとしても、長時間付着したままにしますと、浴槽表面やパッキン類を傷め、変色や割れ、水漏れの原因になります。

●浴槽の中に洗剤を入れて風呂フタや風呂いす、衣類のつけ置きをしないでください。
シミや変色の原因となります。

●コーキング材を歯ブラシなどでこすったりしないでください。
へたったり、傷める原因となります。

フロフタ

月に1度

●柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を適量とって、表面を軽くこすって汚れを洗い流してください。
マキフタの場合は継ぎ目の部分、クミフタの場合はフタの縁取り部分が汚れやすく、かびが生えやすいので、歯ブラシなどを使って洗ってください。
ときどき、陰干しをして完全に乾燥させましょう。

割り込み Q&A

Q. 浴槽の水が青く見えます。汚れているのでしょうか？

A.【水と光の演出】
水は本来無色透明ですが、太陽光の青系統のみを透過させて、他の色の光は吸収する性質を持っています。透過した青い光は、浴槽の底で反射して、水面に戻ってくるため水が青く見えるのです。ただし浴槽の色によっては青く見えない場合もあります。

【銅イオンの溶出】
給湯機内部や配管に使われている銅から溶け出した銅イオンが、石けんやあかに含まれる脂肪酸などと反応しておこる現象です。普通は銅管の内面が新しいときだけ発生し、使用しているうちになくなります。万一、浴槽などに付着して青くなったら、アンモニア水（10%水溶液）でこすり洗いをしてください。その後、お酢で中和させ、水でよく洗い流します。

浴槽まわりのお手入れ②

ゴム排水栓

●排水栓のお掃除

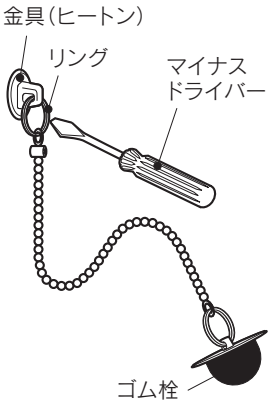
週に1度

ゴム排水栓の裏側に汚れがたまるとお湯が漏れやすくなります。歯ブラシなどで汚れを落としてください。

●排水栓の交換

ゴム排水栓が古くなると交換が必要です。お買い上げの販売店などに交換を依頼してください。（有償）

なお、お客様が交換される場合は、くさりのリングに⊖ドライバーを差し込み外してください。



⚠注意

排水栓をつないでいるくさりの浴槽取り付け部（ヒートン）を無理にまわさない

取り付け部がゆるむと水漏れのおそれがあります。

追いだき配管・金具

●追いだき配管

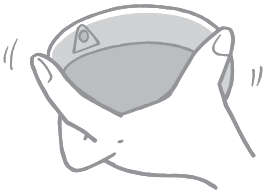
長期間使用すると、給湯機配管内に湯あかなどの汚れが付いてきます。その汚れが浴槽の中に流れ出てくる場合は追いだき配管のお掃除をしてください。

追いだき配管の詳しいお手入れ方法は、給湯機付属の取扱説明書をご覧ください。

●追いだき循環金具

週に1度

追いだき金具（循環金具）のフィルターが目詰まりすると、沸きあがりや給湯に時間がかかるようになります。金具のフィルターは外せますので、定期的にお掃除をしてください。



床・排水まわりのお手入れ①

排水口

洗い場の排水口に髪の毛、水あかなどがたまると、排水が悪くなって洗い場に水があふれたり、
水漏れの原因にもなりますので、こまめなお掃除をお願いします。

●ヘアキャッチャー

毎　日

排水フタを外して、ヘアキャッチャーをまわして外し、たまった髪の毛などの、ごみを捨ててください。

週に1度

スポンジなどで汚れを洗ってください。

●排水フタ・排水口

週に1度

柔らかいスポンジで浴室用中性洗剤を使って、排水フタの表と裏、排水口全体を洗ってください。

●封水筒

汚れが目立ったら

排水トラップの中にある封水筒の汚れが目立ってきたら、まわしながら外して浴室用中性洗剤を使って汚れを洗い流してください。
また、排水トラップ内に髪の毛がたまっていた場合は、手やピンセットなどで取り除いてください。

そのまま流すと詰まりの原因になります。

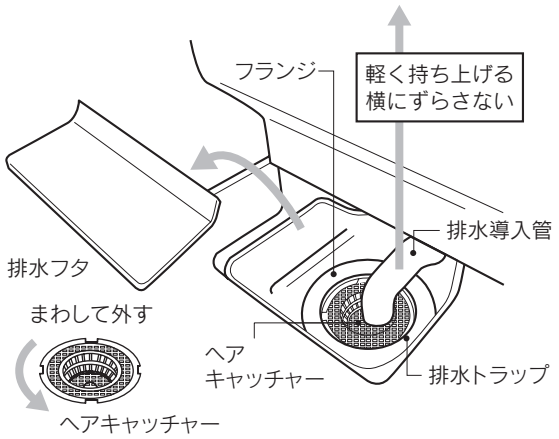
お願い

- **洗剤を使用したあとは、じゅうぶんに洗い流してください。**
  洗剤の原液が付いたまま放っておくと部材を傷めるおそれがあります。
- **排水トラップのフランジはまわさないでください。**
  ゆるんでトラップが外れると水漏れの原因となります。
- **排水トラップのフランジ周囲を歯ブラシなどでこすらないでください。**
  パッキンを傷めるおそれがあります。

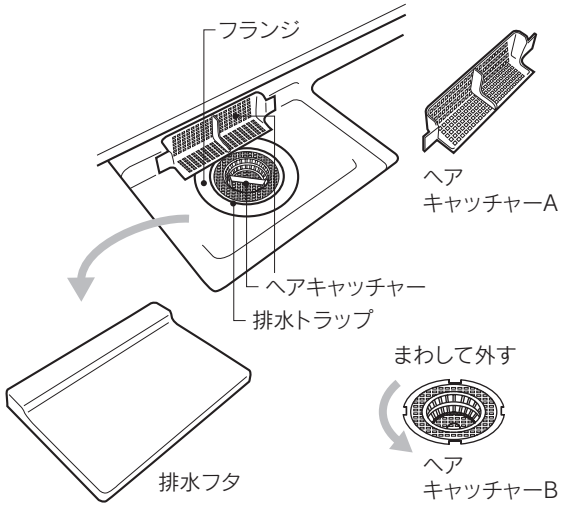
お掃除が終わったら、封水筒やヘアキャッチャー、排水フタを正しく取り付けてください。
その後、トラップ内に封水をためるために洗面器1杯くらいの水を流してください。

ヘアキャッチャーの外し方

●RHシリーズ
排水導入管を持ち上げ、先端を回転させます。
横方向へずらさないでください。

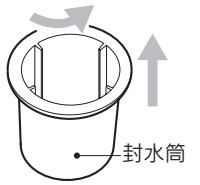


●GW、GX−Lシリーズ



排水筒の外し方

ヘアキャッチャーを外したあと、封水筒の中の引っ張りに指をかけてまわして外します。



床・排水まわりのお手入れ②

浴槽下

洗い場でからだを洗ったりする程度では浴槽の下にまで、お湯が流れ込むことはありませんが、急激に浴槽に入ったり、洗面器いっぱいの水をいっきに洗い場に流すと、浴槽の下にお湯が入り込み、髪の毛などのごみがたまります。また、放っておくとカビが発生しやすい部分です。浴槽の下はふだん見える所ではありませんが、浴槽エプロンを外して定期的にお掃除をしてください。

週に1度

ホースなどで放水して、浴槽下のゴミ、汚れなどを洗い流してください。その後、ヘアキャッチャー（浴槽側）にたまった髪の毛などのごみを取り除いてください。

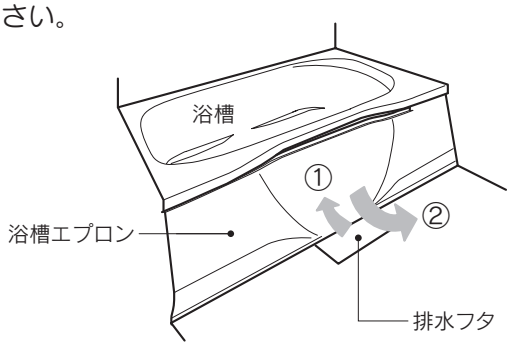
お願い

- **浴槽排水口の周囲を歯ブラシなどでこすらないでください。**
  パッキンを傷めるおそれがあります。

浴槽エプロンの外し方

取り外し方

排水フタを外してから、浴槽エプロン下側に手をかけ、上に押し上げながら手前に引いて外してください。



取り付け方

取り付けは、外し方と逆の手順で行ってください。

床・壁・天井のお手入れ

床

毎　日

入浴した人が都度床にシャワーをかけて、石けんかすや皮脂、シャンプー・リンス成分を流してください。

週に1度

毛先の柔らかいブラシで浴室用中性洗剤を使って、床の表面全体と、パターンの溝に汚れがたまっていれば、溝も念入りに洗ってください。

お願い

- シャンプーや洗浄剤は床に残らないよう必ず洗い流してください。
  液に含まれる成分が床を傷めるおそれがあります。
- 床周囲に施されているコーキング部は歯ブラシでこすらないようにしてください。
  コーキング材を傷めて、十分なシール効果を発揮できないおそれがあります。

壁

毎　日

- 最後に入浴した人が壁にシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散ったシャンプーなどの洗浄剤や皮脂を流してください。

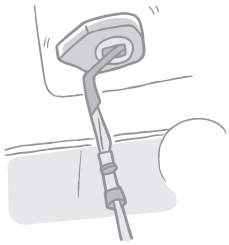
週に1度

- 大きめのスポンジに浴室用中性洗剤を適量とり、壁全体を軽く円を描くように洗ってください。

天井

月に1度

- 手が届かない天井は、ついお手入れをおこたりがちです。柄の長いスポンジや、ペーパーモップに布をセットしたものに、浴室用の中性洗剤を付けて、軽くこすってください。その後は、シャワーで洗剤をよく洗い流してください。



お願い

- 天井に付いた洗剤を洗い流すためのシャワーは、換気扇などの機器に水がかからないようにしてください。
  故障の原因となります。

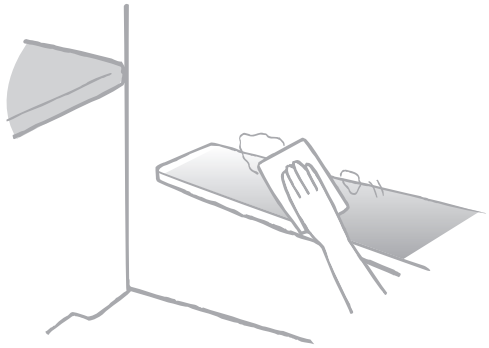
カウンターまわりのお手入れ

カウンターまわり

毎　日

カウンターにはシャンプーの泡が飛び散ったり、石けんやボトルなど小物の液だれが残ったりしますので、最後に使った人がシャワーで洗い流してください。

水アカ予防のため、水気をふき取ってください。

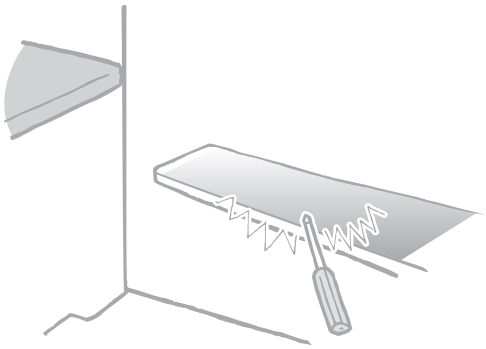


週に1度

スポンジに浴室用中性洗剤を付けて、カウンターまわりをやさしく洗ってください。
壁とカウンターのつなぎ目などは、スポンジの角を利用して、汚れが残らないようにします。

お願い

- **洗剤を使用したあとは、じゅうぶんに洗い流してください。**
  洗剤の原液が付いたまま放っておくと、部材を傷めるおそれがあります。
- **お掃除など日常のお手入れで、カウンターまわりの部品は取り外さないでください。**
  部品が破損するおそれがあります。



水栓のお手入れ①

各タイプ共通

水栓のメッキ表面は水あかが付くと、とても目立ってしまいます。
反対にピカピカになっていると、バスルーム全体が明るくきれいに見えます。
最後に使った人が水気をふき取って、水あかが付かないよう予防しておきましょう。

●水栓の表面

毎　日

最後に使った人が飛び散ったシャンプーの泡などをシャワーで洗い流してください。

水アカ予防のため、水気をふき取ってください。

週に1度

浴室用中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れをふき取りその後、乾いた布で仕上げてください。

アドバイス

水栓の形は複雑だから、細かいところまできれいに汚れをふき取りにくいものです。
ゴム手袋の上に軍手をはめて、雑巾代わりにすると細かいところの汚れもふき取ることができて便利です。

お願い

- **クレンザー（みがき粉）などの粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは使用しないでください。**
  器具の表面を傷付けます。
- **酸性洗剤、塩素系漂白剤、鉱物性潤滑剤、シンナー、ベンジンなどは、器具の樹脂部分（ハンドル、シャワーヘッド、パッキンなど）を傷めますので使用しないでください。**

●シャワーホース

毎　日

ホースに飛び散ったシャンプーや石けんかすを洗い流してください。

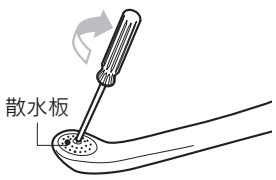
週に1度

スポンジに浴室用中性洗剤を付けて、水あかや石けんかすなどを洗い流してください。

●シャワーヘッド

年に1度

シャワーヘッドの網目（散水板）にごみや水あかがたまっているとシャワーの流量が落ちることがあります。ときどき散水板を外して歯ブラシなどでごみや水あかを取り除いてください。



①ねじがあるものは、ねじをゆるめて散水板を外します。またねじがないものは、散水板そのものをまわして外します。

②散水板につまったごみをブラシでこすって落とします。

定期点検について

- **年に1度は、配管の回りを見て水漏れがないか確認してください。**
  部品の劣化、磨耗による漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

専用取扱説明書の確認

水栓は専用の取扱説明書をご用意していますので、あわせてご覧ください。

水栓はこの他のタイプが使用される場合があります。

壁付水栓の場合

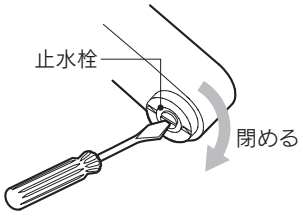
水栓のお手入れ②

壁付サーモシャワー水栓

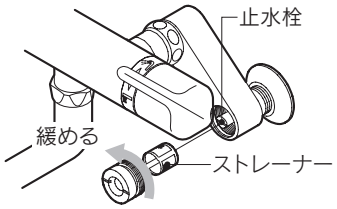
ストレーナー

ストレーナーにごみ、水あかなどがつまっていると、吐水量が少なくなったり、給湯機の着火が悪くなって温度調節がしづらくなります。
不具合を感じたときはストレーナーのお掃除をお願いします。

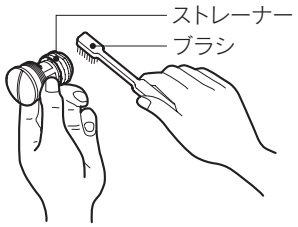
①マイナスドライバーなどで湯側･水側の止水栓を閉めてください。



②ストレーナーを緩めて取り出してください。



③ストレーナーにつまったごみや水あかなどを歯ブラシなどで取り除いてください。



④ストレーナーを取り付け、止水栓を開けてください。

ストレーナーは、湯側、水側の2カ所あります。

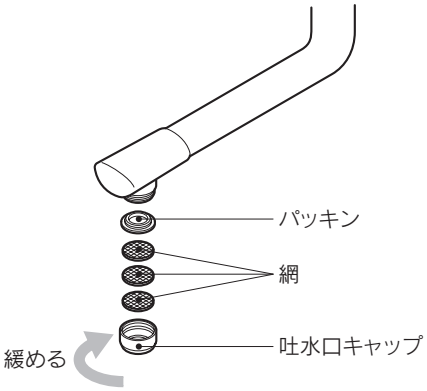
⚠注意

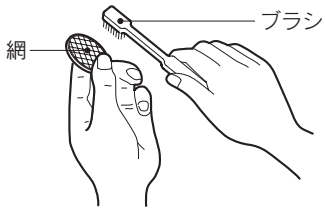
❗ストレーナーの掃除は、止水栓を閉め、湯側の取り付け部が熱くないことを確認してから行う

湯水が噴き出したり、熱い部品に触ったりすることで、やけどをするおそれがあります。

吐水口

吐水口の中に入っている網もときどき外して、ごみ、水あかなどの汚れを歯ブラシなどで取り除いてください。

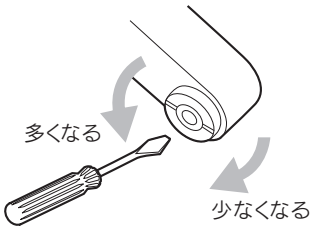




止水栓による流量調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などに、止水栓でお好みの量に調節できます。

●止水栓の流量調節ねじをまわしてください。
時計まわりにまわすと流量が少なくなり、反時計まわりにまわすと多くなります。



ドアのお手入れ①

各タイプ共通

●ドア（障子または框）

毎　日

最後に入浴した人がドアにシャワーをかけて、身体を洗ったときに飛び散った石けんかすや皮脂を流してください。

週に1度

バスルーム側は柔らかい布またはスポンジに浴室用中性洗剤を付けて、ドアの面材に付いた汚れを洗い流してください。
脱衣室側は浴室用中性洗剤をつけた柔らかい布でほこりなどの汚れをふき取ってください。

●ドア枠

月に1度

ドアの下枠は髪の毛やほこりのようなごみがたまりやすい部分です。
割りばしにティッシュなどを巻き付けたものを利用して、ごみをかき出し取り除いてください。

●ドアパッキン

週に1度

ドアの障子またはドア枠についているパッキンは、洗い場の排水が脱衣室側へ流れないようにするための重要なパーツです。浴室用中性洗剤を付けた柔らかい布で汚れをふき取ってください。パッキンは柔らかい部品ですので、傷めないよう汚れをやさしくふき取ってください。

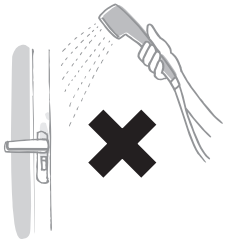
⚠注意

ドアのパッキンが切れたり外れたまま使わない
水漏れのおそれがあります。

ドアに勢い良く水をかけない
水漏れのおそれがあります。

お願い

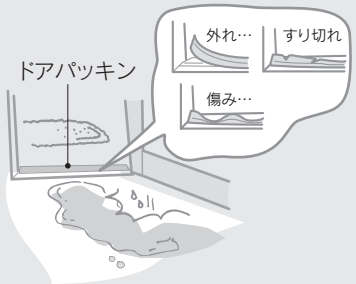
●**ドアのロックにシャワーをかけないでください。**
ロックの故障原因になるおそれがあります。



●**ドアパッキンのお手入れにタワシや歯ブラシ、かび取り剤などの洗剤は使用しないでください。**
表面を傷めるおそれがあります。

パッキンに不具合を感じた場合

ドアのパッキンは定期的に交換が必要な消耗品です。ご使用中に切れたり、外れて元に戻せなかったりと、不具合を感じた場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

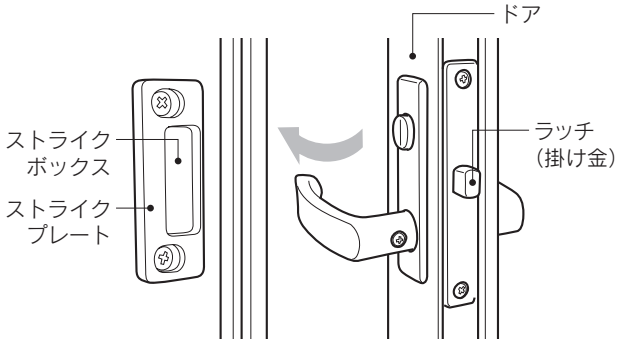


ドアのお手入れ②

開閉具合の調整

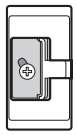
●框戸

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、閉まりにくいときは、ドアのラッチ（掛け金）とドア枠のストライクボックス（掛け金を受けるへこみ）の位置を調整してください。



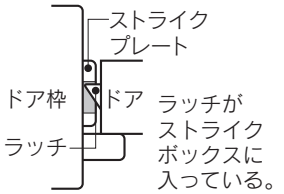
調整の仕方

ストライクボックスのプレートはドアのタイプによって形状が違います。どちらも⊕ドライバーでねじをゆるめて、プレートの前後を調整します。

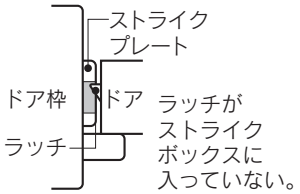


ゆるめ過ぎてプレートが外れないよう気をつけてください。

●閉まりやすい



●閉まりにくい

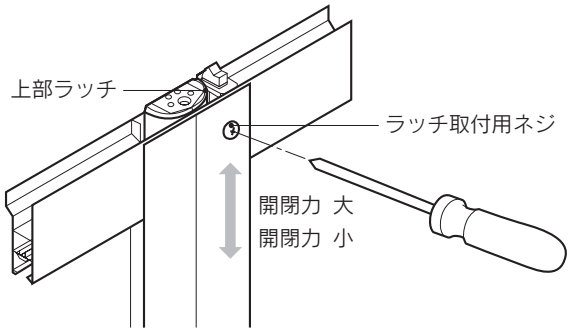


●折戸

ドアが完全に閉まらず自然に開いてしまったり、開閉が重いときは、ドアのラッチ（掛け金）とドア枠のレールがうまくかかっていないことが原因です。ラッチのかかりしろを調整してください。

調整の仕方

ラッチ取り付けネジをゆるめて調整してください。



照明・鏡のお手入れ①

照明のお手入れについて

照明器具は電気機器ですので、安全のために正しい手順を守ってお手入れを行ってください。

⚠警告

照明器具や換気扇のお手入れは電源（スイッチ）を切ってから行う

感電やけがをするおそれがあります。

⚠注意

電球は必ず器具に表示してある種類、ワット（W）数の適合ランプを使用する

異なる種類、ワット（W）数のランプを使用しますと、過熱によりやけどや器具が変形、変色したり火災の原因となります。また、器具が変形すると防湿性能が失われ、漏電の原因となります。

グローブやカバーのお掃除に洗剤は使用しない

変質、変色、変形のおそれがあります。

お願い

- **カウンターや浴槽の上平面部に乗って電球の交換をしないでください。**
  部材が壊れるおそれがあります。

壁付照明

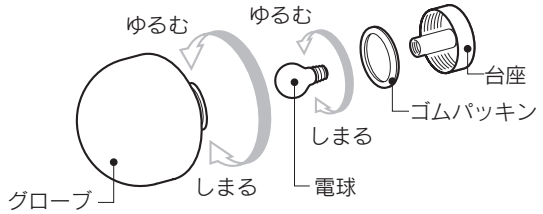
●カバー（グローブ）

半年に1度

電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからグローブをはずしてください。汚れはぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。
グローブの水気を取り除いたあと、照明の台座に取り付けてください。

壁付照明のグローブと電球の外し方

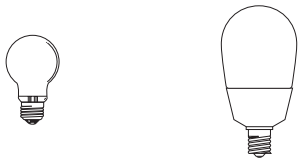
取り外し方



取付の際は、ゴムパッキンを忘れずに入れてください。しめすぎ・ゆるめすぎのないよう気を付けてください。方向のあるグローブの場合は、水平になるように取り付けてください。

●電球の交換

壁付照明は60W形のミニクリプトン球または電球形蛍光ランプをご使用ください。



60W形
ミニクリプトン電球
（E17口金）

60W形
電球形蛍光ランプ
（E17口金）

電球の種類は壁付照明に表示されています。

●電球形蛍光灯の使用について

電球形蛍光灯を使用する場合は、以下の点に注意してください。

①密閉形や防湿、防雨の器具に対応したもの。
②ワット数、口金サイズに適合しているもの。
③電球形蛍光ランプは、ミニクリプトン球と比べて、一般的にサイズが大きいので確認してください。

点灯直後は暗く、約60秒で明るくなりますが、約20分間は明るさや光色が若干変化します。また、明るさや見え方がミニクリプトン球と多少異なります。

照明・鏡のお手入れ②

ダウンライト

●カバー

半年に1度

電源（スイッチ）を切って、器具の温度が下がってからカバーに付いたホコリや汚れをぬるま湯に浸した柔らかい布でふき取ってください。手が届かないときはペーパーモップに布をセットしてふきましょう。

●電球の交換
ダウンライトは60W形のミニクリプトン電球をご使用ください。

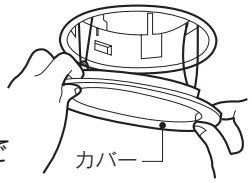
60W形
ミニクリプトン電球
（E17口金）

ダウンライトのカバーと電球の外し方

取り外し方

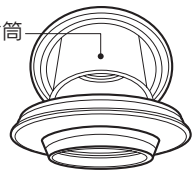
①カバーを引き下げてください。

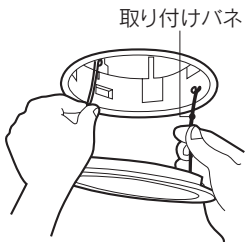
②取り付けバネをつまんで引き抜いてください。



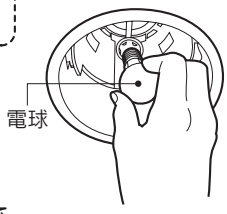
ガラス調ダウンライト

ガラス調ダウンライトは反射筒が付いていますが同様に外してください。



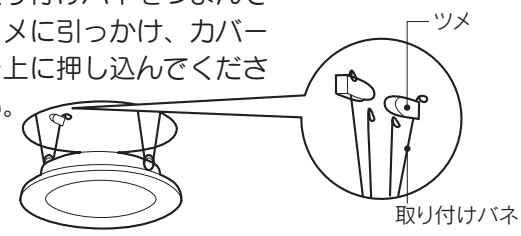


③斜めに取り付いている電球を交換します。



取り付け方

取り付けバネをつまんでツメに引っかけ、カバーを上に押し込んでください。



⚠注意

ダウンライトの中に手を入れるときは気をつける

中の部品に触れるとけがをするおそれがあります。

鏡

毎　日

鏡にはシャンプーの泡が飛び散ったりしますので、最後に入浴した人がシャワーで洗い流してください。

水アカ予防のため、水気をふき取ってください。

半月に1度

柔らかいスポンジに適量にうすめた浴室用中性洗剤をつけて鏡表面をやさしく洗ってください。

汚れてきたら

スポンジに浴室用クリームクレンザーを付けて水あかのついた部分を少しずつこすって落としてください。

割り込み Q&A

Q. 鏡に白い汚れがついてとれません…

A. 水アカがこびりつかないようふだんのお手入れが大切です。白い汚れのほとんどは、こびりついて堆積してしまった水アカです。いったんついてしまった水アカは、通常の浴室用洗剤ではなかなか落とせません。それでも汚れを落とすには、部材ごとにあった専用クリーナーと、専門の技術で落とします。（有償）
詳しくはお買い上げの販売店または、ハウステックお客様ご相談窓口までお問い合せ下さい。

お願い

●**ベンジン、シンナー、塩酸、強アルカリ性薬品を使用したり、毛染め剤、油脂類が鏡や取付金具（またはフレーム）に付いたまま放置しないでください。**
腐食や変色の原因になります。

換気扇・器具類のお手入れ①

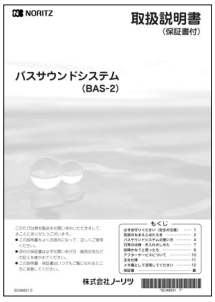
専用取扱説明書の確認

以下の機器は専用の取扱説明書をご用意していますので、お手入れ方法はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

換気扇

換気乾燥機

バステレビ



バスオーディオ

給湯機やこの他の機器についても、専用の取扱説明書がある場合は、よくお読みになって正しいお手入れをお願いします。

器具類

月に1度

タオル掛けや握りバーなどは柔らかいスポンジに浴室用中性洗剤を付け、バーを握るようにして洗ってください。

アドバイス

メッキタイプの製品は、水あかが付くと目立つところです。こまめに水分をふき取って、表面の光沢を保ちましょう。

お願い

- **塩素系・アルカリ性の洗浄剤やかび取り剤をメッキタイプの製品や金属製品に使用しないでください。**
  腐食や変色、さびやくもりの原因になります。

換気扇・器具類のお手入れ②

収納棚

毎　日

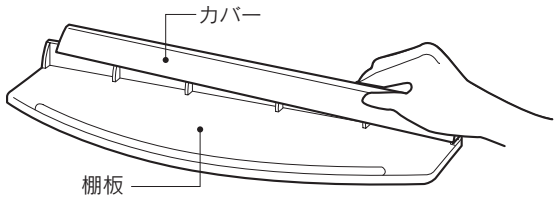
ボトルの液だれや小物の水分などを、棚と小物の両方ともふき取ってください。

週に1度

収納している小物を取り出し、棚板を取り外して、浴室用中性洗剤を含ませた柔らかいスポンジで棚板を洗ってください。洗ったあとは洗剤を十分流して、棚板を取り付けてください。

年に1度

フロントシェルフはカバーが外せるようになっています。年に1度は外して、棚板の取り付け部も棚板と同じように洗ってください。

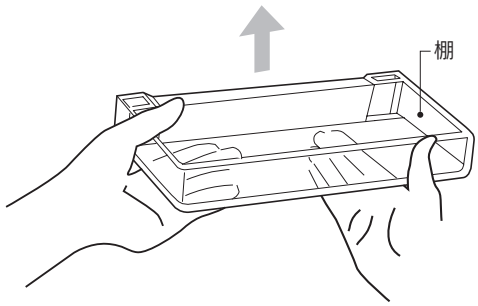


お願い

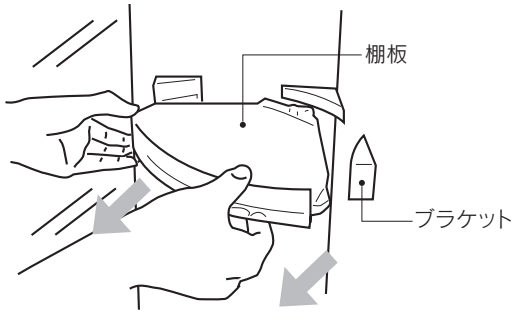
- **クレンジングオイルなどの洗顔料や整髪料、バスオイルなどの入浴剤や洗剤を棚に置く場合、液だれがないようふき取って置いてください。**
  液に含まれる成分が、棚を傷めるおそれがあります。

棚板の外し方

- ワイドシェルフ
  棚を両手で持ち、引き上げて外してください。



- コーナーシェルフ
  棚板を手前に引きだしてください。



「あれ？」と思ったら①

商品に異常を感じたときは、次の点をお調べください。
また、水栓、換気扇など、専用の取扱説明書がある機器は
そちらもあわせてお調べください。

洗い場水栓

現　象	原　因	処　置
●吐水量が少ない。	止水栓は全開されていますか。	止水栓で流量を調節してください。 チェック! 37ページ、または水栓の取扱説明書
	吐水口キャップ、ストレーナーやシャワーヘッド散水板の目づまりはありませんか。	吐水口、ストレーナーやシャワーヘッド散水板のお掃除をしてください。 チェック! 36・37ページ、または水栓の取扱説明書
	ガス給湯機と組みあわせてのご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか。	ガス給湯機の能力を適正能力にセットしてください。 チェック! ガス給湯機の取扱説明書
●高温しか出ない。	水側の止水栓は十分開いていますか。	止水栓で流量を調節してください。 チェック! 37ページ、または水栓の取扱説明書
●低温しか出ない。	湯側の止水栓は十分開いていますか。	止水栓で流量を調節してください。 チェック! 37ページ、または水栓の取扱説明書
	給湯機から50℃以上のお湯がきていますか。	給湯機の設定温度（50℃以上）を確認してください。 チェック! 給湯機の取扱説明書
●温度調節がうまくできない。	湯側、水側の止水栓は十分開いていますか。	止水栓で流量を調節してください。 チェック! 37ページ、または水栓の取扱説明書
	給湯機から十分なお湯がきていますか。	給湯機の設定温度（50℃以上）を確認してください。 チェック! 給湯機の取扱説明書
	吐水口キャップ、ストレーナーやシャワーヘッド散水板の目づまりはありませんか。	吐水口、ストレーナーやシャワーヘッド散水板のお掃除をしてください。 チェック! 36・37ページ、または水栓の取扱説明書
●水栓金具のハンドルをまわすと、カンまたはブーンという音がする。	配管が振動する音です。	水栓金具のハンドルは、ゆっくりまわしてください。 チェック! 11ページ
●シャワーヘッドの水が止まらない。	シャワーヘッドは、マッサージ機能が付いたタイプなど大きなヘッドではありませんか。	ヘッドが大きいタイプのシャワーは水切れに時間がかかります。しばらくしたら（1分程）止まります。
●水栓の取り付け部から水が漏れる。	取り付け部に入っているパッキンが劣化していることがあります。	パッキンの交換が必要です。お買い上げの販売店または別添のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック! 48ページ

「あれ？」と思ったら②

ドア

現象	原因	処置
●框戸のドアが自然に開く。または、ドアが閉まりにくい。	ドアのラッチ（掛け金）がドア枠のストライクボックス（掛け金を受けるへこみ）に正しい位置に納まっていない場合があります。	ラッチが正しい位置に納まるようストライクボックスの位置を調整してください。チェック! 39ページ
●折戸のドアが自然に開く。または、開閉が重い。	ドア上下にあるラッチ（掛け金）がドア枠のレールにうまく引っ掛かっていない場合があります。	ラッチがレールにうまく引っ掛かるようラッチを調整してください。チェック! 39ページ

床（洗い場）

現象	原因	処置
● 洗髪時の泡が残る。	泡の量が多いと、水といっしょに流れないためです。	シャワーをかけて流してください。
●洗い場に小さな水玉が残り、なかなか乾かない。	床には、耐水性、耐久性が高いFRPを使っており、排水後は、表面張力により、玉状に水が残る場合があります。	玉状の残水を少なくするためには、バスルーム使用後、シャワーで洗い場の石けんかす、皮脂などを流したり、中性洗剤でのこまめなお掃除をしていただくと効果的です。 また、常にバスルームの換気を心がけてください。チェック! 21・32ページ
●お掃除で、洗い場の排水口に洗面器の水を急激に流すと浴槽の排水口から水が出てくる。	洗い場と浴槽の排水口がつながっているためときどき起きる現象です。	故障ではありません。静かに水を流してください。チェック! 13ページ
●洗い場排水口へ水が流れるのが遅い。	洗い場の排水口にごみがたまっていませんか。	排水トラップのごみを取り除き、捨ててください。（排水口の中には捨てないでください。）チェック! 32ページ
●床の一部に乾かないところがある。	風呂いすや洗面器などを床に置いていませんか。	床に物を置いていると、その設置部分は排水の障害となって水が残り、他の部分に比べ乾きが遅くなります。チェック! 21ページ

「あれ？」と思ったら③

浴　槽

現　象	原　因	処　置
●保温浴槽仕様なのに思ったよりお湯が早く冷める。	入浴したあと、風呂フタを置くのを忘れていませんか。	バスルームの温かさをキープさせるため、こまめに風呂フタを置いてください。 チェック! 10ページ
	浴槽に追いだき循環金具を付けていませんか。	浴槽のお湯を循環させる部品は配管が外に付き、外気に触れるのでお湯が冷めやすくなります。ご理解ください。
●浴槽のお湯が減る。	排水口に髪の毛やごみが入っているためです。	排水口の髪の毛やごみを取り除いてください。 チェック! 31ページ
	風呂水洗浄剤を使うと、排水栓のパッキンを傷め、お湯が抜けて減ることがあります。	風呂水洗浄剤は使用しないでください。 チェック! 10ページ

天井・換気扇

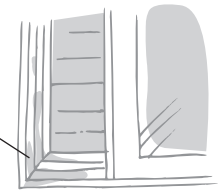
現　象	原　因	処　置
●天井に水滴がたまる。	湯気やミストなどが天井に付き、成長してできたものです。	入浴後は換気扇をまわしたり、窓をあけるなどして、バスルーム内を乾燥させてください。残り湯がある場合は、必ずフロフタをしてください。 チェック! 21ページ
●天井に水滴が付き落ちてくる。	天井は断熱仕様となっていないため、気温、湿度条件によっては結露することがあります。	入浴していないときはフロフタをしたり換気扇を運転させて、湿気がこもらないようにしてください。 チェック! 21ページ
●入浴中寒く感じる。	換気扇を運転しながら入浴していませんか？	入浴中は換気扇の運転を止めてください。 チェック! 21ページ
●換気扇を運転しながら入浴すると、換気扇より水が落ちてくる。	冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇（グリル部）に当たり、水滴となって落下します。異常ではありません。	入浴中は換気扇の運転を止めてください。
●フラットパネルタイプ換気扇の受け皿に水がたまる。	冬期などは特に湿気を多く含んだ空気が換気扇に当たり、水滴となったものが、たまったためです。異常ではありません。	故障などではありません。受け皿を取り外し、たまった水を捨ててください。受け皿を取り外す際は、たまった水がこぼれやすいのでご注意ください。 チェック! フラットパネルタイプ換気扇の取扱説明書

「あれ？」と思ったら④

照明・器具類

現　象	原　因	処　置
●照明が点灯しない。	電球切れではありませんか。	電源（スイッチ）を切って、照明のタイプにあった新品の電球に交換してください。 チェック! 40・41ページ
●電源（スイッチ）を入れても点灯しないときがある。 ●本体を動かすと点滅する。 ●本体が異常に熱い。 ●こげ臭いにおいがする。 ●カバー（グローブ）にヒビが入っている。	照明が故障している可能性があります。	照明の修理が必要です。お買い上げの販売店または別添のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック! 48ページ
●鏡表面の汚れが取れない。	水滴が乾いて、こびり付いたためです。	クリームクレンザーにて、お手入れしてください。 チェック! 41ページ

その他

現　象	原　因	処　置
●シリコン、目地にかびが生える。	バスルームの換気と手入れは十分ですか。  	入浴後は換気扇をまわしたり、窓をあけるなどして、バスルーム内を乾燥させてください。かびは一度生えると、かび取り剤や漂白剤ではきれいに取り除くことはできません。 チェック! 21ページ
●ホームバブルが作動しない。		付属の取扱説明書に従い診断を行ってください。それでも作動しない場合は、お買上げの販売店または別添のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。 チェック! ホームバブルの取扱説明書

アフターサービスについて

アフターサービスを依頼する前に

●商品に不具合を感じたときは“「あれ?」と思ったら”を見てもう一度確認してください。
それでも不具合が直らない場合は、自分で修理しないで、お買い上げの販売店またはサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
●電化製品及び水栓は、それぞれの製造元によるサービスで対応いたします。

ご相談の際はお手もとに保証書をご用意ください。

保証と保証期間について

●この取扱説明書には保証書(別紙)が付いています。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
●保証期間中は、保証書の記載内容に基づき無料修理いたします。保証期間は、保証書に明記してあります。
●保証期間中でも有償になることがありますので、保証書の記載内容をご覧ください。
●保証期間を過ぎている場合、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有償にて修理をいたします。ただし、補修用部品の保有期間を経過していた場合は、修理できない場合があります。

バスルーム廃棄についてのお願い

●このバスルームを廃棄される場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼ください。

バスルームの廃棄部材が不法投棄等されていた場合、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

アフターサービスを依頼するときは

●アフターサービスを依頼するときは次のことをお知らせください。
【1】商品の「メーカー型式」
【2】不具合の状態(できるだけ詳しく)
【3】住所・氏名・電話番号

商品の「メーカー型式」はドア上側に貼り付けられています。

器具の追加や変更について

●器具を新しく追加したり、位置を変更するときは、お求めの販売店または、別添のサービス網一覧表の窓口まで相談ください。

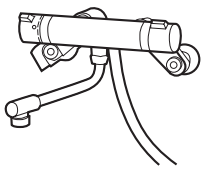
有償点検のおすすめ

●長く快適に使っていただくため、ご使用に不具合がなくても、有償ですが点検を受けていただくことをおすすめします。(お使い始めてから2年以降)
また、以下の場合も有償の点検をおすすめします。
・温泉地域や海岸付近など特に腐食がおきやすい地域でご使用されている場合。
・別荘地・転勤などで、長期間ご使用されない場合。
●点検については、お買い上げの販売店または別紙に記載のサービス網一覧表の窓口にご相談ください。
●点検料金は、点検料(技術料)＋出張料＋部品代(交換した場合)となります。

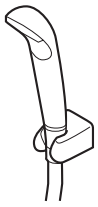
こんな部品は定期的に交換です。

ご使用中に不具合を感じたときは、お買上げの販売店またはサービス代理店までご相談ください。

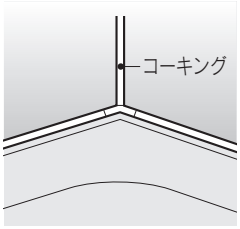
●水栓本体



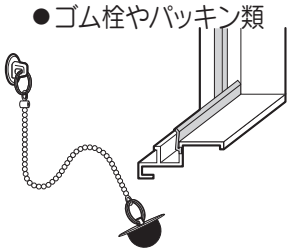
●シャワーホース・ヘッド



●目地・コーキング



●ゴム栓やパッキン類



●照明器具の電球

照明器具の電球はお客様で交換をお願いします。

交換の目安は、ご使用開始から3年です。ただし、お客様のご使用状況により大きく異なります。また、保証期間ではありません。

ハウステックお客様ご相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは(お客様相談窓口)	修理・点検のご用命は	補修部品のご購入は(代引き販売窓口)
0120-80-1761	**0120-10-2471**	**0120-45-5621**
●受付時間 平日の9:00～17:30(但し12:10～13:00の間は除く) 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。	●受付時間 365日 24時間	●受付時間 平日の9:00～17:30(但し12:10～13:00の間は除く) 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

株式会社 ハウステック
東京都板橋区板橋3-9-7 板橋センタービル 〒173-0004 Tel. 03-5248-5500 **www.housetec.co.jp**

RH09-PT9001	8W000040	2009.10